

セX149

46
333

蘇山居士著

北海道
之都府
函館案内

梅櫻堂藏版

緒言

一本書の記事意匠頗る拙劣文辭亦鄙野なれども正確は眞況を明瞭しあるは看察慢し拙文を



正確を期したれども輕便を旨とし小冊子とあしたるの故に眉毛竅穴を
能くは頗る遺憾あれども二版を俟て詳細の案内記を發兌す
るを答る勿れ若し夫れ記事として誤謬あれば謹で識者此正

何人も其事情を知らんと欲する今日なれば著者と本書を以
て及ひ遠隔地地ありて函館の光景を知らんと欲するもの
を補ふべければ看客幸し諒焉

一巻中藝妓の事を掲載したるは紳士淑女共齒せざる所編者も亦本意にあらざるも道般動
物と雖も函館の繁昌を道出する一分子あれば之を欠くは函館系内姓名に背かんと恐



編識者

●函館案内目次

第一	函館市街ノ沿革略史	一頁
第二	函館市街ノ區劃	三頁
第三	函館市街ノ位置	四頁
第四	函館市街ノ人口及其狀態	五頁
第五	函館市街ノ氣候	六頁
第六	函館港灣ノ形狀	八頁
第七	船舶出入	九頁
第八	輸出入	十頁
第九	船客來往比較	十一頁

第十	荷客運賃	十二頁
第十一	內地及日本道各地海陸里程	十六頁
第十二	重ナル商店並ニ其狀況	十九頁
第十三	辨護士開業醫師	三十七頁
第十四	土木請負師	四十頁
第十五	寫真師	四十頁
第十六	回漕店並ニ其狀況	四十一頁
第十七	旅人宿並ニ下宿屋其狀況	四十二頁
第十八	雇人請宿並ニ其狀況	四十三頁
第十九	商工會	四十四頁
第二十	商業十三組合	四十五頁
第二十一	社寺	四十六頁
第二十二	官衙	四十七頁
第二十三	學校	四十九頁
第二十四	病院	五十一頁

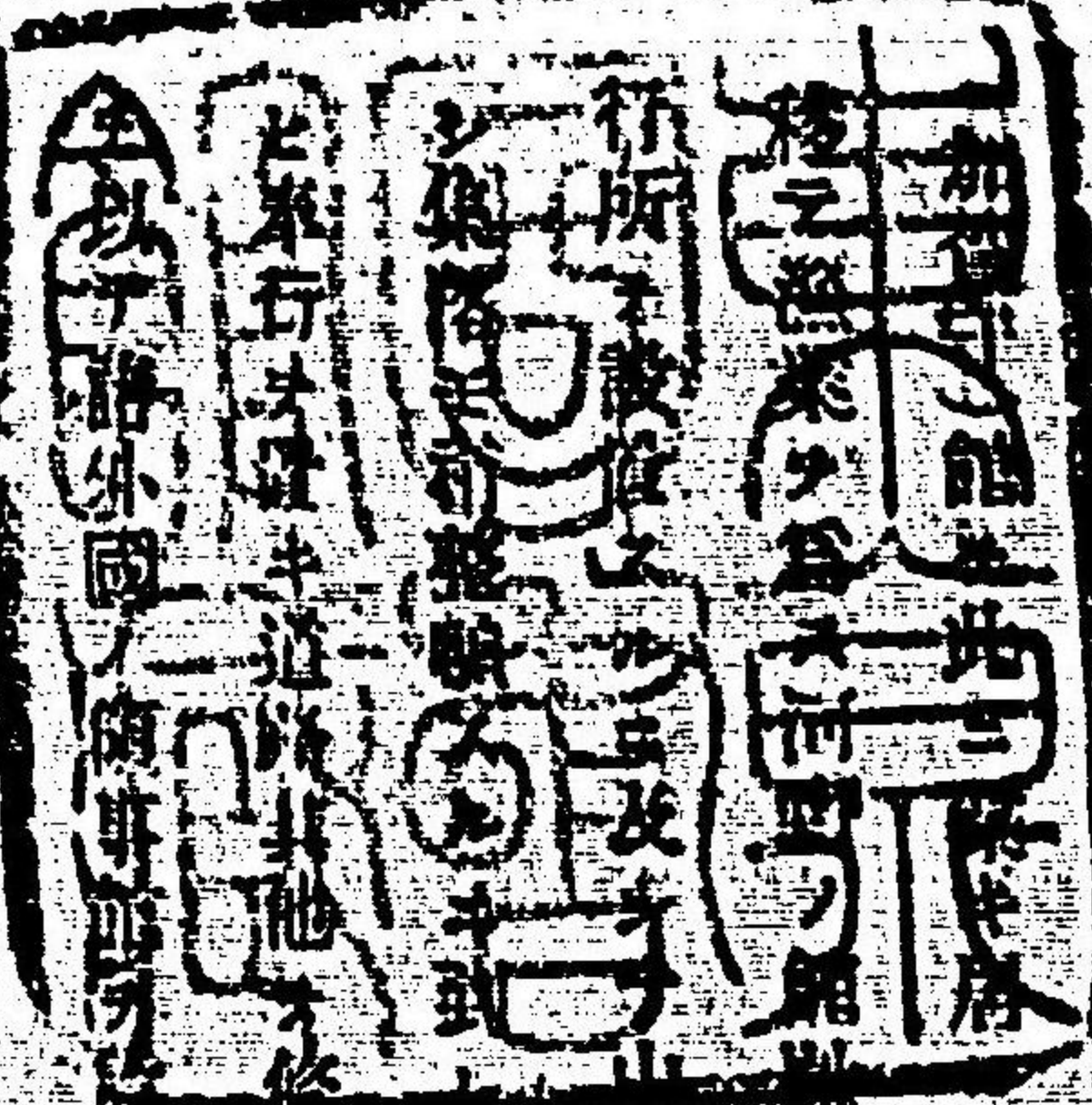
第二十五	會社銀行	五十二頁
第二十六	新聞社及活版所	五十三全
第二十七	協會俱樂部及製造所	五十四全
第二十八	公園地及ヒ碑文	五十五全
第二十九	商品陳列所及ヒ縱覽心得	五十八全
第三十	水産陳列所及ヒ從覽心得	五十九全
第三十一	谷地頭光景並ヒ温泉	六十全
第三十二	湯ノ川温泉場	六十一全
第三十三	御陵邸	六十二全
第三十四	勤工場	六十二全
第三十五	割烹店附藝妓	六十三全
第三十六	遊廊附娼妓	六十四全
第三十七	劇場	六十五全
第三十八	藏前ノ繁昌附甲子町	六十七全
第三十九	諸物價	六十八全

第四十	諸雇一日賃錢	六十九頁
第四十一	種々様々附言葉案内	七十全

終

●函館沿革略史

函館開創ノ順序ハ據ルハ中世ノナク得テ詳シシ難シト雖モ古昔土官ウシヨクナシシノ地名ア
 ナ「ウシヨク」ハ「ウシヨロ」ノ略入輪ノ義ニシテ「ウシ」ハ未端ノ義即チ入輪ノ端ノ意ニシテ其海
 岸遶曲ナリト形容シタカク稱ナリ後世之レヲ轉訛シテ白岸ト稱スルコト至レリ寶徳年中河野
 ヲ幾クナラズシテ蝦夷ノ破ル所トナル慶長年中龜田村近傍ノ民
 形ナク如クナルヲ以テ茲ニ始メテ箱館ト稱ス享和三年幕府奉
 行所ヲ設ケテ之ヲ五反ナリト開キ流汀ヲ填メテ以テ民居ニ便シタルヲ以テ從來不規律ナリ
 箱館ト稱スルコト至レリ後チ一日松前藩ノ轉轄ニ歸シタリシモ安政二年ニ至リ幕府再
 度奉行ヲ置キ道路其他ヲ修理シ箱館市面ノ一新ヲ計ル今六年六月港ヲ開キ互市場トナセシ
 以テ外國ノ商賈皆テ置シ外商ノ居留スルモノ多キニ至ル萬延年中西本願寺川ヲ鑿リ
 水ヲ臨ノ土地ノ開進ヲ助ク明治元年和蘭裁判所ヲ設ケ幕府ヲ箱館府ト改ム全年十月維新ノ戰
 亂ニ逢ヒ市面復タ一變ハ全二年九月開拓使出張所ヲ置キ箱館ヲ函館ト改ム全十五年九月本



廳ヲ札幌ニ置キ函館支廳ヲ此ニ設ケ明治十一十五ノ兩年度ニ於テ大火災ニ遭ヒ家屋ヲ蕩盡
 スルコト三千百九十九軒ニ及ブ今十二年七月大小區ヲ廢シ郡區ヲ置クニ當リ函館市街ヲ統
 テ函館區トナシ始メテ附拓使函館支廳中ニ區役所ヲ設置シタリ今十三年七月町總代等貳拾
 九名連署ヲ以テ區村町何法ニ則トリ區會ヲ設置センコトヲ請願シ全十一月之レヲ允許シ全
 拾四年一月函館區會規則ヲ定メテ議員三十拾名ヲ撰舉セシムルヨリ區會稍整理ノ緒ニ就ケ
 リ十五年三月開拓使ヲ廢シ函館縣ヲ置キ全十九年一月縣ヲ廢シテ北海道廳ヲ置キ以テ今道
 ナ一統スルニ當テ復テ支廳未此ニ置キ全十二月之レヲ廢シテ長官出張所トナシ全廿三年六
 月出張所ヲ廢シテ外交事務ヲ函館區役所ニ兼務セシムルニ至レリ蓋シ函館ハ北海道ノ咽喉
 ニシテ而カモ天然ノ良港ナルカ故安政年間ヨリ内外ノ必要ニ迫ラレテ諸事皆長足ノ進歩ヲ
 爲シ今尙ホ旭日ノ勢ヒヲ以テ開進シツノアレハ將來ノ函館ハ夫レ或ハ今日ニ倍スルノ盛況
 ナ是スルニ至ラン而シテ函館ノ沿革ヲ詳細叙述セント欲スルモ事体頗ル錯雜ニシテ到底一
 二頁ノ能ク盡ス所ニアラザルヲ以テ其ハ他且別冊ヲ以テ詳録スルコトノシ茲ニハ其大要ヲ

補ハシテシテ看客夫トシテ其ノ詳也

●函館市街ノ區劃

函館ニ市街ノ名ヲ命スル松前氏以來已ニ久シキモ區畫ノ名アルハ明治五年壬申二月開拓使
 函館廳下ノ戶籍ヲ改定スル時ニ始ル而シテ此際從來ノ年寄、名主、町代等ヲ廢シ市街ヲ畫シ
 テ三區ト爲ス全九年九月全道大小區ヲ畫スルニ當リ第一區ヲ札幌本廳下ニ起シ石狩後志兩
 國ヨリ數ヶテ渡嶋國ニ及テ即チ函館市街舊第一區ヲ第十四大區中第二區ヲ第十五大區ニ第
 三區ヲ第十六大區ニ改シ全十二年七月大小區畫ヲ廢シ郡區ヲ置クニ至テ函館市街ヲ統テ函
 館區ト爲シ全十四年七月區內ノ町名ヲ改稱合併ス區ヲ畫スルヨリ茲ニ六年間市街ハ一帯灣
 ナリ而シテ龜田郡龜田村界ニ接續シ東南ハ大森、住吉町、ヲ包括シ西北ハ山腰ヲ圍繞シテ人家ヲ構
 フニ至ル左ニ改正町名ヲ掲グ因ニ記入舊町名七十三新町名四十四ナリ

- 宿岡町
- 天神町
- 旅籠町
- 駒止町
- 船見町

蝦治町	會所町	相生町	沙見町
森町	臺町	山背泊町	春日町
谷地頭町	釜淵町	幸町	元町
大黒町	辨天町	大町	西濱町
船場町	恵比須町	末廣町	東濱町
沙留町	蓬萊町	寶町	鶴岡町
音羽町	高砂町	大繩町	海岸町
真砂町	東川町	大森町	西川町
			豊川町
			若松町
			地藏町
			中濱町
			住吉町
			青柳町
			曙町

●函館市街ノ位置

函館ハ北緯四拾一度四十五分五十六秒東經百四拾度四十四分四十秒ニ位ス即チ渡島國龜田郡ノ南端ニアリテ極東ハ尻澤邊町大森町等ニシテ遠ク海ヲ隔テ、津輕ノ大間岬ト相對ス極

西ハ陸中ニ突入セル凹狀ノ灣ニ浴テ龜田村ニ接續ス極南ハ函館山一名臥牛山(函館山ヲ海上ヨリ遠望スル時ハ恰モ牛ノ臥シタル如ク)ニシテ極北ハ龜田村ヲ以テ境界トセリ而シテ函館ハ北海道クナルヲ以テ此名アリト云フ

ノ咽喉ナルカ故其盛衰ト北海道全局ノ盛衰トハ常ニ重大ノ關係ヲ有スルモノニシテ語ヲ換テ之レヲ言ヘバ北海道全局ノ事業ト函館全面ノ事業トハ常ニ其消長ヲ同フスヘキモノナリ

然ルニ近來北海道拓殖問題モ漸ク世人ノ注目スル所トナリテ日一日ヨリ其熱ヲ高ムルノ趨勢ナレバ函館ノ東洋ノ互市場トシテ北海道ノ咽喉トシテ地勢上時勢上益々隆盛ノ域ニ達スルハ蓋シ多辨ヲ要セサルト信スルナリ

●第四 函館市街ノ人口及其狀態

明治廿五年一月ノ調査ニ依レハ函館市街ノ戶數ハ壹万貳千七百三拾四戸ニシテ人員ハ五万七千九百四拾三人アリ即チ一戸平均四人五分余ニ當ル然レモ函館ノ細民ハ四月頃ヨリ十一月迄ノ間ハ鯨鰯鮭魚ハ礦業等ノ業務ニ從事センガ爲メ各地方ニ出稼スル者甚々多キカ故

ニ夏時ト冬季トハ現在人員ニ大差アルベシ殊ニ函館ハ開港場ナルガ故且ニ飄然トシテ來リ
 其目的ノ組織スルヨリ失望浴際夕ニハハ飄然トシテ立去ル者其數極メテ多キヲ以テ人情モ
 自然輕薄ニ流レ五倫五常ノ道モ殆ント地ヲ掃フ計リナリ然レドモ一家ヲ保チ夫々事業ヲ輕
 營スルモノニ至テハ隣侪相頼護シ慶災悲歎モ與ニスルノ情誼最モ厚ク到民内地人杯ノ及ブ
 所ニアラスト云フ而シテ言語ハ一定ノ言葉ナク東京語ヲ使フモアレバ上方訛言ヲ出スモア
 リ津輕ヨリ薩摩ノ端マデ日本國中ノ言語ハ彼方此方ニテ喃々喋々語リ遇ヘルモ概シテ上等
 社會ハ東京語ヲ使用シ下等社會ハ青森秋田山盛地方ノ語多シ終ニ一言入函館ハ二十年ヨリ
 二十五年迄五ヶ年間ニ於テ平均式千八百五十五人宛増加シ居レバ今後之ニ一倍ノ速力
 ナリテ進歩スルハ多辨ヲ要セザルコトナレバ函館ノ人口拾万ノ聲ヲ聞クハ敢テ遠キニアラ
 ザルベシ

第五 ● 函館市街ノ氣候

函館ハ北緯四拾一度四十五分五十六秒東經百四拾度四拾四分四十秒ニ位スルカ故ニ氣候寒
 烈嚴冬ノ候積雪ハ圓々トシテ地上ニ堆ク漸々凝結シテ玻璃板ヲ數クカ如シ北風吹雪ヲ飛バ
 シ萬物ヲ肅殺スルノ冬季ニ在テハ華氏寒暖計〇、一二度、ニ及ブコトアリサレドモ東風肌々
 花信ヲ報シ黃鳥啼々春陽ヲ呀シ來ルノ時ハ臥牛山上ハ申スニ及バス遙ニ屹立セル駒ヶ嶽ノ
 諸山モ漸次雪ノ衣ヲ脱シ谷地頭ノ田圃ニハ青蕪綠芽ヲ萌出シ初メテ區民ノ眼睛ニ綠色ヲ映
 セシム五月頃ニ至リ梅モ櫻モ桃モ今ヲ得顔ニ綻ビ初メテ互ニ春榮ヲ競フ様内地ニテハ夢ニ
 マモ見サル所ナリ夏期炎熱燻ナル時ト雖トモ煩熱堪ヘ難キハ只正午頃ヨリ三時頃迄ノ間ニ
 シテハ陽西山ニ傾キ乱鴉啼ヲ求ムルノ時ニ至レバ涼風肌ニ徹シ袷衣ニアラザレハ凌キ難キ
 程ナリ誠ニ冬ハ地獄ナレドモ夏時ハ極樂土ノ思フセラル

今函館測候所設立以來觀測シタル表ニ依リ氣候最高低及ビ平均溫度表並ニ霜雪ノ初降ト最
 終ノ月日トヲ左ニ記サン

最高溫度	華氏 七〇、二	最低溫度	全二七、〇
平均溫度	華氏 九二、五	極溫度	全零下二、八
最高極度		最低極度	

霜雪

最初降霜	二十年十月一日	平均初霜	十一月一日
最遲降霜	十七年五月廿九日	平均最遲	五月八日
最初降雪	十一年十月十一日	平均初雪	十一月六日
最遲降雪	七年五月九日	平均最遲	四月十一日
平均降雨日數 (全年水敷曲尺三、六四)		一歲中百七十日	

第六 函館港ノ形状

北海々岸巨船大船ノ碇繋入ヘキ港灣ニ乏カラス即チ東ニ在ル者五、函館、室蘭、厚岸、ヲ以テ最モ良港トシ西ニ在ル者四、江差、壽都、小樽、ヲ以テ良港トス就中函館港ハ形狀ヲ爲セル天
然ノ良港ニシテ内外船舶ノ出入絶ユル時ナク實ニ東北地方ノ一大港灣ナリ殊ニ函館人士
日夜經營シテ措カサル港灣ノ修築港灣ノ浚渫並ニ船渠創設ノ三大工事モ早晚着手ノ運ニ至
ルハ多辨ヲ要セザルコトナレバ愈々竣工ノ上ハ東洋ノ五市場トシテ世界ニ其名ヲ轟カスハ
必然ノコトナラン今左ニ函館港ノ方向淺深ヲ記シテ之ヲ示サシメ
函館ハ波島國磯田郡ニアリ東西壹里廿町五拾八間南北壹里廿四町アリ深サ凡ソ八拾九尺

ニシテ港口西南ニ向フ港形巴字ヲナスニ巴港ト云フ元祿ノ比ヨリ船舶漸ク集リ安政六年
六月開港五市場トナル

第七 船舶出入

函館ハ北海道ニ於ケル荷客ノ一大集散地ナレバ内外船舶ノ出入實ニ驚クヘキモノアリ予一
日巴港灣頭ニ於テ八拾二艘ノ漁船ノ碇繋スルヲ見認メタリ又タ日本ニ稀ナル良港ト云フハ
シ今左ニ船舶出入表ヲ掲ゲテ其盛況ヲ示サン

種別	二十五年中		二十四年中		増減
	噸	艘	噸	艘	
漁船	入 二、六二五 出 二、六四四	八八六、九五八 八九五、六五三	二、二五六 二、二六七	八〇五、三九二 八〇九、三一九	增 三六九 增 三七七
西洋形帆船	入 三三三 出 三三三	二八、〇五一 二六、八八三	三三三 三三三	三〇、六八五 三一、二八二	增 一 增 三三
日本形船	入 一、六三〇 出 一、七六七	二〇五、八五二 二七八、三三一	二、一一六 二、一四一	二八九、八九二 二九二、七三九	減 四九六 減 三七四
合計	噸 九、三六二 艘 二、三三二	二、三三二、七二八	九、四三二	二、二五九、三〇九	減 八七〇

明治二十五年函館港ト諸外國間トニ出入セシ内外船ハ「出ノ部」ニ於テ内國漁船十九英國
 汽船十一 獨逸汽船九 米國汽船二 帆走船五 倭船五 「入ノ部」ニ於テ内國汽船一 帆走船
 二 倭船八 英國汽船四 帆走船二 米國帆走船五 獨逸三ニシテ出合計五十一 入合計二十三
 ナリ其外國港ハ上海 天津 神戶 太田 西比利亞 桑行 シトニ一メルボルン ポルトランド
 カーゲツフ等ナリ

第八

●輸出 輸入

●函館港對府縣輸出入概要

(廿四年)

種別	輸出入		種別	輸出入	
	輸出	輸入		輸出	輸入
肥料類	九二二、一〇三、四〇〇	—	穀類	—	九二三、九七一、二四〇
魚類	八七七、八九四、六〇〇	—	食用品	—	一、三三、八三三、六三六
魚類	七八四、六七四、六〇〇	—	日用品	—	八五六、三二二、〇〇〇
魚類	六九一、六三三、六二四	—	漁具類	—	二〇五、二四一、二〇〇
魚類	二五五、二九七、二二二	—	其他類	—	一、四一九、六一〇、五五〇
魚類	一七四、一二四、七五〇	—	合計	—	五、三四二、九六八、五二六
魚類	一八二、七〇四、六四〇	—	對輸出超過	—	一、〇〇八、五五四、六一八
魚類	四五五、九八二、一九〇	—			
魚類	四三三、四一三、九〇八	—			

輸出ノ増減ト漁業ノ豊凶トハ常ニ其消長ヲ同フスルモノナリ尙ホ是レヨリ漁業農業ノ開進
 スルニ於テハ年々進フテ輸出額ノ増加ヲ見ルニ至ラン輸入モ亦々漁業ノ豊凶ニ關係アルハ
 勿論ナリト雖モ移民ノ多寡新事業ノ興敗等大ニ其額ヲ増減スルニカアルモノナリ

●函館港外國輸出入品原價比較表

年次	輸出	輸入	輸出超過
二十四年	六三八、七〇九	二一七、四八一	四二一、三二八
二十五年	七三五、四七六	一一、四二二	七二四、〇五五
二十六年	四三六、七五〇	四三、三七八	四三三、三七二

海外輸出品ノ重要ナルモノヲ採クレバ昆布 刻昆布 錫 鱒 干鮑 海參 乾貝類 折昆布 等
 ナリ而シテ輸出額ノ過半否ナ大略ハ支那商人ノ函館ニ於テ直ニ買収シ外國船ヲ雇フテ輸送シ
 タルモノニ係レリ

第九

●船客來往比較

明治二十四年中「入ノ部」ニ於テ七万三千四百六拾八人「出ノ部」ニ於テ七万八千七百五拾四

八全二十三年中「入ノ部」ニ於テ七万八千〇四拾三人「出ノ部」ニ於テ六万五千七百拾五人ナ
 リ而シテ入ノ部ニ於テ二十三年ヨリ二十四年ニ於テ減スルコト四千五百七拾五人出ノ部ニ
 於テ増スコト壹方三千〇三拾五人ナリ斯ク著シク増減アリシ原因ハ一二ニシテ足ラズト雖
 尺紙數ニ限リアルヲ以テ茲ニハ述ベス他日ヲ俟テ詳録スルコト、セン

第十

荷客運賃

●函館ヨリ内地諸港ニ至ル荷物運賃表

品名	量	依ノ漢一京	濱	四日市	神戶	大坂	長崎
白子身欠	全	四一、〇〇〇	五八、〇〇〇	七五、〇〇〇	八〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一〇四、〇〇〇
米其他穀類	全	二八、〇〇〇	四三、〇〇〇	五九、〇〇〇	六八、〇〇〇	七五、〇〇〇	八五、〇〇〇
破目	全	二五、〇〇〇	三九、〇〇〇	五二、〇〇〇	六〇、〇〇〇	六六、〇〇〇	七二、〇〇〇
笹布	全	六〇、〇〇〇	八五、〇〇〇	一一一、〇〇〇	一二九、〇〇〇	一三九、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
長切	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇

品名	量	依ノ漢一京	濱	四日市	神戶	大坂	長崎
折昆布等	全	三四、〇〇〇	四八、〇〇〇	六二、〇〇〇	七二、〇〇〇	七七、〇〇〇	八六、〇〇〇
鮭鱈(散)	全	四二、〇〇〇	六〇、〇〇〇	七八、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一二三、〇〇〇	一三九、〇〇〇
材木	全	四二、〇〇〇	六〇、〇〇〇	七八、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一二三、〇〇〇	一三九、〇〇〇
放海鼠	全	一五、〇〇〇	二二、〇〇〇	三五、〇〇〇	四一、〇〇〇	四五、〇〇〇	五〇、〇〇〇
魚油	全	一七、〇〇〇	二四、〇〇〇	三一、〇〇〇	三七、〇〇〇	四三、〇〇〇	五〇、〇〇〇
魚油	全	一七、〇〇〇	二四、〇〇〇	三一、〇〇〇	三七、〇〇〇	四三、〇〇〇	五〇、〇〇〇
水	全	一三、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二七、〇〇〇	三三、〇〇〇	四〇、〇〇〇	四七、〇〇〇
一等品	全	一三、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二七、〇〇〇	三三、〇〇〇	四〇、〇〇〇	四七、〇〇〇
二等品	全	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三五、〇〇〇
三等品	全	〇八、〇〇〇	一二、〇〇〇	一六、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二四、〇〇〇	二八、〇〇〇
四等品	全	〇六、〇〇〇	〇九、〇〇〇	一二、〇〇〇	一四、〇〇〇	一七、〇〇〇	二〇、〇〇〇

其二

品名	量	依ノ漢一京	濱	四日市	神戶	大坂	長崎
白子身欠	全	四一、〇〇〇	五八、〇〇〇	七五、〇〇〇	八〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一〇四、〇〇〇
鮭鱈	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
油精	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
魚骨	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
舟川土崎酒	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
新瀉直江津	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
伏木	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
敦賀	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇
馬關	全	三三、〇〇〇	四九、〇〇〇	六六、〇〇〇	七六、〇〇〇	八四、〇〇〇	九二、〇〇〇

米穀類	碓黃	笹目	若布	長切	元揃	魚鱈	魚油	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈	魚鱈
全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全	全全
四〇〇	三〇〇	二六〇	六四〇	三〇〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
三二〇	二八〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
三六〇	三〇〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
三六〇	三〇〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
三六〇	三〇〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
三六〇	三〇〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
三六〇	三〇〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
三六〇	三〇〇	二六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇

函館ヨリ常道各地へノ運賃表ハ煩ニ渉ルヲ以テ略ス而シテ本表ハ日本郵船會社ノ運賃表ニ依リテ調査シタルモノナリ尙ホ函館ニハ社外船ト稱フル郵船會社外ノ船船大小六十有余ア

イテ常道各地及ビ内地諸港間テ航海ス其運賃ハ荷客共ニ日本郵船會社ノ運賃ニ比シ凡ソ貳割方減スルヨシナリ

●白函館港至長崎乗船賃

函館港ヨリ萩ノ濱マテ上等四圓五拾錢中等三圓下等壹圓五拾錢 全橫濱マテ上等九圓中等六圓下等三圓 全神戸マテ上等拾六圓中等拾壹圓下等五圓五拾錢 全四日市マテ上等拾六圓五拾錢下等五圓五拾錢 全馬關マテ上等貳拾八圓下等拾圓五拾錢 全長崎マテ上等三拾四圓下拾壹圓五拾錢

●其二

函館港ヨリ土崎マテ上等八圓下等三圓 全酒田マテ上等九圓下等三圓五拾錢 全新潟並ニ佐渡マテ上等拾貳圓下等四圓五拾錢 全伏小マテ上等拾五圓下等五圓五拾錢 全敦賀マテ上等拾九圓下等七圓 全境マテ上等貳拾三圓下等八圓五拾錢

●其三

函館ヨリ室蘭マテ上等三圓七拾五錢中等壹圓五拾錢下等壹圓 全釧路マテ上等六圓廿五錢 下等貳圓五拾錢 全厚岸マテ上等八圓下等三圓 全濱中マテ全上 全根室マテ上等拾圓下

●其四

函館港ヨリ福山マテ下等九拾錢 全江差マテ下等壹圓貳拾錢 全壽都マテ下等壹圓五拾八錢 全岩内マテ下等壹圓七拾錢 全小樽マテ下等貳圓 全青森マテ下等五拾錢 以上八重ニ郵船會社ノ運賃表ニ依リ調査シタルモノナレバ同社外ノ船ニ至テハ多少増減アルヘシ又本冊子ハ紙數ニ限リアルヲ以テ交通上必要ノヶ所ノミヲ掲ケタリ看客夫レ之ヲ諒セラレヨ

第十一

●内地及ヒ本道各地海陸里程

●函館港ヨリ海外諸港海里程

函館港ヨリ浦潮斯德マテ四百二拾四海里 全天津迄壹千五百三拾海里 全上海マテ壹千貳百貳拾海里 香港マテ一千八百廿五里 芝罘マテ一千二百九拾海里 寧波マテ一千百七拾六海里 廣東マテ一千九百零四海里 厦門マテ一千五百拾六海里 新嘉坡マテ二千貳百七拾一海里 馬尼刺マテ二千零七拾海里 「バタビヤ」マテ二千七百三拾六海里 「シドニー」マテ四千八百四拾五海里 「ペトロポール」マテ一千零六拾六海里 桑港マテ四千四百六拾九海里

●自函館至三府近縣陸里程

函館港ヨリ秋田縣マテ百〇一里廿町 全山形縣マテ百五拾七里八町 全岩手縣マテ九拾六里三拾町 全宮城縣マテ百四拾四里貳拾二町 全福嶋縣マテ百六拾六里貳拾貳町 新潟縣マテ(秋田ヲ經)百八拾貳里貳拾八町 全東京マテ貳百三拾七里拾四町 横濱マテ二百四拾五里三拾貳町 京都マテ三百六拾八里三町 全大坂マテ三百八拾一里五町 全長崎マテ五百八拾三里拾貳町 右ノ外ニ函館青森間ノ海上八拾一海里ヲ加フ

●函館ヨリ札幌ニ至ル陸里程

函館ヨリ七飯迄四里八町 七飯ヨリ森迄七里拾町 森ヨリ室蘭迄海上二拾二海里 室蘭ヨリ幌別迄五里壹町 幌別ヨリ白老迄六里三拾町貳拾四間 白老ヨリ苫小牧迄五里貳拾壹町 五拾壹間 苫小牧ヨリ千歲迄六里三拾四町 千歲ヨリ烏松迄三里三拾四町 烏松ヨリ札幌迄五里貳拾七町四拾四間 以上函館ヨリ札幌迄ノ累計里程ハ四拾五里貳拾三町ナリ

●札幌ヨリ當道各地ニ至ル陸里程

札幌ヨリ小樽マテ九里八町三拾間 全増毛マテ貳拾九里四町四拾六間 全岩内マテ貳拾六里貳拾六町拾八間 全壽都マテ三拾七里三拾壹町四拾四間 全室蘭マテ三拾四里五町 全浦河マテ四拾七里一町 全釧路百〇四里六町四間 全厚岸マテ百貳拾里十七町四拾六間

全根室マテ百四拾五里二十九町拾貳間 全網走マテ百五十二里壹町拾五間 全函館區マテ四十五里貳拾三町 全檜山郡江差マテ五十七里二拾五町三十三間 全龜田郡七重マテ四十一里拾五町 全松前郡福山マテ六十七里貳拾四町三十間 全紗那(擇捉嶋)マテ百四拾五里貳十九町拾二間 以上ハ札幌ノ元標ヨリ起算シタルモノナリ而シテ前掲函館區以下松前マテハ外ニ森室蘭間ノ海上二十二海里紗那ハ擇捉根室間ノ海上百五拾二海里ヲ加ヘテ算スヘキモノトス

●函館港ヨリ横濱及ヒ長崎航程海里

函館港ヨリ八戸マテ百〇九海里 全宮古マテ百六拾九海里 全山田マテ百七十九海里 全釜石マテ百八拾八海里 全秋ノ濱マテ貳百六十六海里 全石濱マテ二百七拾二海里 全濱瀧マテ五百貳拾九海里 全四日市マテ七百二十九海里 全神戸マテ八百七十六海里 全長崎マテ一千貳百五拾八海里

●函館港ヨリ西岸馬關航程海里

函館港ヨリ土崎マテ百四拾四海里 全酒田マテ百八拾九海里 全新潟マテ貳百四拾七海里 全直江津マテ三百〇二海里 全伏木マテ三百四拾七海里 全敦賀マテ四百三拾九海里 全境マテ五百貳拾九海里 全馬關マテ六百八拾九海里

●函館港ヨリ宗谷航程海里

函館港ヨリ松前マテ四拾貳海里 全江差マテ八十二海里 全海都マテ百五拾八海里 全岩内マテ百七十海里 全小樽マテ貳百貳拾壹海里 全宗谷マテ三百三十海里

●函館港ヨリ根室及ヒ青森航程海里

函館港ヨリ森マテ七拾六海里 全室蘭マテ七十九海里 全釧路マテ貳百〇壹海里 全厚岸マテ二百三十二海里 全中マテ貳百五拾貳海里 全根室マテ二百九十五海里 全青森マテ五拾九海里

第十二

●重ナル商店並ニ其狀況

函館ハ五港ノ一ニシテ其般盛ナル遠ク外四港ノ及バザル所ナリ故ニ幾千ノ商買中或ハ繁昌スルアリ繁昌セザルアリ又々勉強スルアリ勉強セザルアリ又々正直ヲ守ルアリ守ラザルアリテ其内幕ヲ探レバ所謂千差万別ナランカ然レモ紙數ニ限アルヲ以テ今一々之ヲ細論スルコト能ハス遺憾ナガラ他日ニ續リコノニハ函館市上ニ於テ最モ有名ナル最モ確實ナル商店ヲ掲ゲテ大方ニ紹介スルノミ

● 1之部

末廣町七十五番地角 掛物砂糖 卸小賣
 吳服太物卸小賣 ①今井支店
 末廣町百二番地 太物吳服 卸小賣
 西洋織物 今市洋物店
 小間物類
 全十二番地 荒物卸小賣
 西洋小間 全支店
 物洋酒類 全支店
 全二十八番地 洋酒諸 鐘詰類
 西洋織物肩カ ケランブ類
 汐止町十八番地 岩伊豫田清太郎 醬油其他 雜貨卸
 富岡町二番地 伊藤金次郎 牛乳搾取 配菜

惠比須町

全伊藤商店
 末廣町七十五番地 甘飯田商店
 大黒町八十四番地 ②池田商店
 東濱町八番地 石垣隈太郎
 幸町 石垣商店
 寶町二十三番地 石井太郎

食糧販賣

西濱町

石光商店

掛物砂糖 卸小賣

辨天町

※橋場金藏

許國產物商

船場町二十八番地

岩佐商店

吳服太物 卸小賣

辨天町

本林商店

内外國製銃 器彈藥販賣

會所町五十七番地

井上嘉助

柏木碎粉 網類販賣

末廣町

秦慶治

柏木碎粉 特約販賣

西濱町二十九番地

石澤商店

香油香水 化粧品販賣

惠比須町龜田屋小路

巴香堂

● 2之部

大町菊泉堂

酒類卸小賣

花井商店

和洋小間 物卸小賣

末廣町二十五番地

新田商店

酒類卸小賣

惠比須町角

全支店

全

全東店

●ホ之部

靴帽子
類品々
末廣町大三坂下角
今保木商店

●ハ之部

麥粉砂
糖卸賣
末廣町
全逸見商店

●ト之部

靴馬具靴
製革類
末廣町六十二番地
天篤田支店
辨天町六十二番地
大豐嶋三策

會所町五拾二番地

西洋菓子一
切製造販賣
東濱町棧橋向角
東洋堂
支店

●チ之部

得林筆墨
紙品々
末廣町八十二番地
全重陽堂

仲濱町

産物醬油類
貨委託販賣
辨天町
筑前善次郎
千島藥館

●イ之部

繩越海
産物類
西濱町三拾九番地
久奥寺仁三郎

新古時計
賣買修繕
末廣町六拾一番地
加奥津時計店

越前西洋妙フ
リダシ木舖
末廣町
正奥村貞吉

洋酒牛肉
類販賣
末廣町
大平商店

柏木碎粉遊
特約販賣
末廣町百十番地
小川商店

紙砂糖煙草
雜貨卸小賣
辨天町五十八番地
小嶋商店

末廣町二十間坂下角

帽子靴類
製革類
末廣町
小川商店

和菓子製
造小賣
末廣町
翁軒

酒北海長
釀造元
若松町八拾九番地
大木長藏

酒群魚
釀造元
大黒町九十番地
岡田勇作

時計修
繕賣買
會所町
緒方時計店

●ワ之部

玄白米並
ホ夕虫販賣
大黒町四十七番地
福渡邊米店

幸町九番地
米穀海產物醬油
雜貨委託販賣
福渡邊佐兵衛

末廣町市部坂通
西陣染
物業
芬渡邊榮藏

末廣町角
陶器類冷
鑛販賣
高和久商店

西川町
販賣
和田伊助

西川町角
酒味附醬油雜
貨賣藥卸小賣
今若林商店

●力之部
地蔵町八番地
本加藤康次郎

寶町二番地
伊香保
温泉
加藤美津知

惠比須町十八番地
時計賣買
並二修繕
又加藤久太郎

末廣町百四番地
西洋小間物織物
洋酒鐘錶類一切
森洋物店

末廣町
時計並二付屬品
販賣時計修繕
全時計店

末廣町
洋服裁縫
全洋服店

仲濱町
船具一切
全船具店

●夕之部
西濱町二十一番地
一田端半七

鶴岡町
米穀商
種田直右衛門

西濱町
夕太刀川善之助

辨天町
米穀商
久高橋清次

東濱町三十八番地
肉販賣
干高橋牛肉店

寶町十三番地
諸鳥雞
卵販賣
高桑養鷄場

大町
米穀商
竹本七右衛門

富岡町基坂
提燈一切
竹内提燈店

惠比須町角
履物烟草
今紙類
大一商店

惠比須町十六番地
洋酒類鐵
瓶各種
谷崎商店

仲濱町三十一番地
海產米穀酒雜
貨委託販賣
高橋支店

東濱町百四十二番地
牛乳榨
取配達
園田牛乳販賣所

天神町九十番地
支白米商
外添木米店

仲濱町二十七番地
米穀商コ
夕ス製造元
分相馬理三郎

●ツ之部
東濱町旭橋向
砂精機醬油
總發卸商
津嶋惣市

大町八番地
和洋紙類筆墨
帳而類卸小賣
常野嘉兵衛

●ツ之部
惠比須町十五番地
全支店

大町七番地
茶線香茶
器類品々
常野與兵衛

惠比須町角
全支店

末廣町
清酒各種並
酒粕卸小賣
千辻野酒店

●ツ之部
未廣町九十六番地
時計眼鏡
類品々
續 仁三郎

大町一番地
冷鐵泉
販賣
半塚倉榮三

●ツ之部
大町七番地
繩徒火
販賣
全津田商店

末廣町
卷煙草商
中村金右衛門

相生町
米穀商
中村貞吉

●ツ之部
惠比須町
硝子製造洋酒
品々卸小賣
羽中野平吉

船場町二十二番地
卸商
中村喜太郎

大町
印刷木
版一切
長尾印刷店

末廣町八十五番地
印刷木版
一切
中越彫琢堂

諸國物
産商
仲伊助

東川町二百九番地
刻昆布
製造業
全成田富太郎

●ツ之部
相生町
立白
米商
村田豊吉

●ツ之部
牛乳作
販賣
三村井牛乳店

●ツ之部
地蔵町二十六番地
釣道具麻
苧類販賣
全内山商店

末廣町角
和洋酒類煙
草雜貨卸賣
全梅津商店

末廣町角
和洋酒類煙
草雜貨卸賣
全梅津商店

木材
柏販賣

細工
布商

鶴岡町十番地
△梅内久治郎

東濱町二十二番地
■植田屋

●ノ之部

米穀商

野村治郎兵衛

時計販賣
全修繕

能登谷金治

●ク之部

柏小碎粉
溢販賣

辨天町十五番地
舎工藤商店

書林雜誌
寶鏡專賣

末廣町

魁文舎

諸國名茶並
ニ茶器販賣

末廣町

金魁專堂

藥店詳賣
藥一切

大町イワシヤ

桑原惣藏

新古道具日用
裝飾品賣買

相生町十七番地

草廼家

諸國烟草小賣
並ニ石油販賣

蓬萊町

熊谷商店

牛鶏豚肉販賣
並ニソツプ

惠比須町五十八番地

鞍貫商店

酒類醬油雜
貨委託販賣

西濱町二十二番地

久保商店

專賣厨爐改良
蒸浦開販賣

辨天町林商店ニテ

◆谷藤己之丞

改良靴製
造販賣

末廣町

山田商店

藥店並ニ
賣藥一切

鶴岡町

山田藥店

牛鶏豚肉
卸小賣

東濱町

森龜山田商店

精器械
製造業

豊川町三十八番地

山村金藏

フツキ細
工一切

末廣町

眞矢野商店

諸國煙
草品々

惠比須町蓬萊館向

⊕安満商店

人參
藥湯

大黒町六十二番地

□浴湯

牛鶏肉販賣
ソツプ配達

相生町八十八番地

⊙鶏肉店

掛物菓子類
製造卸小賣

地蔵町

今万卵商店

カルタ煙
草卸小賣

惠比須町北盛樓向

正松本商店

印刷及
木版

會所町
松岡彫刻店

桶類製
造販賣

大町四十五番地
免福嶋文藏

牛馬豚肉
鶏卵販賣

●フ之部
健全社

諸宝銘
茶販賣

地蔵町六十一番地
免藤川支店

清酒
賣捌

大町十三番地
三藤井利三郎

卸小賣
萬小川物

地蔵町
藤代清吉

網類及石
炭販賣

大町三十三番地
布施商店

烟草履
物紙類

●コ之部
古川音次郎

米穀商
夕虫販賣

富岡町一番地
久福岡伊三郎

米穀商
陶器類清
酢販賣

地蔵町十九番地
利小塚支店

諸産物雜
貨卸小賣

東濱町
余近藤孫三郎

洋服外套毛布
肩掛類品々

末廣町大三坂角正柳組
平小島第一支店

米穀商

鶴岡町
近藤秀右衛門

全

末廣町百十一番地
全第二支店

有名賣樂
卸小賣

辨天町角
全國領平七

酒日本長食
樽卸小賣

大町
國小山商店

煙草洋酒
類卸貨店

末廣町十八番地
直小林直勝

酒醬油味
樽卸小賣

仲濱町
倉小林豐次郎

古着類

西川町五十一番地
刃小林商店

酒醬油味
樽卸小賣

西濱町
☆小山大次郎

和洋酒類
荒物類

鶴岡町四十九番地
全小森商店

煙草仲
買商

辨天町五十八番地
◎小嶋與三郎

酒大蛇
釀造元

石版銅版
印刷業

高麗物
類販賣

下駄傘烟
草類販賣

牛乳搾取
配運業

若松町八拾三番地

惠比須町十六番地

蛇子正憑
國分社

惠比須町五十三番地

江戶屋清次郎

惠比須町十七番地

高江戶屋

江幡國七郎

●サ之部

陶器履表
類卸小賣

萬金物厨
爐卸小賣

醬油繩越
海產物商

石炭
販賣

賣藥
專門

米穀並一
類發販賣

末廣町九十二番地

末廣町八十八番地

寺井四郎兵衛
示寺井祐吉

●ア之部

念荒川忠藏

平安達商店

網塚忠兵衛

傳阿部丑五郎

萬履
物類

古着仕立
物品々

西醬油味附相
馬陶器販賣

新發明精
米器械師

和洋酒類雜
貨產物卸商

末廣町

阿部商店

惠比須町魚田屋小路

天阿部宇兵衛

相生町十七番地

赤坂商店

若松町八十七番地

三原原寅五郎

末廣町九十八番地

愛新軒

●サ之部

東濱町十五番地

念三忠支店

西濱町三十五番地

坂口商店

西濱町

酒谷商店

末廣町三十六番地

佐方未定吉

東濱町四十八番地

澤野定吉

末廣町三十六番地

齋藤商店

●キ之部

地藏町

木下清次郎

酒醬油諸國
產物販賣

清酒
卸賣

清酒類花種
製造卸商

和洋酒味附
海產物卸商

呉服太物
卸小賣店

賣藥小間
物卸商

賣藥店

吳服太物
卸小賣

清酒
め醸造元

洋種物苗木
粉谷城賣

和菓子製
造小賣

西川町

辨天町

●ユ之部

辨天町十番地

●ミ之部

若松町

惠比須町五十五番地

木下庄助

冬吳服店

湯田儀助

三田已藏

三嶋堂

全

新古道
具賣買

和洋敷物砂糖麥
粉石油卸小賣

萬金物厨
爐販賣

米穀商鳩
麥販賣

酒類酒粕
ン委託販賣

惠比須町藏前通角

全支店

西川町七十四番地

三井龜吉

末廣町四十番地

三星商店

末廣町八十三番地

全三ツ谷鐵藏

●シ之部

富岡町一番地

新保商店

末廣町八十番地

河島谷商店

萬金物
卸小賣

萬金物
卸小賣

洋服外套肩
掛毛布類

小間物賣
藥卸小賣

萬金物
卸小賣

酒酢醬油味
附卸小賣

末廣町

全澁田利右衛門

辨天町

全全支店

末廣町八十九番地

正柳組嶋村支店

蓬萊町百五十五番地

套鹽谷長吉

地蔵町二十番地

三進藤商店

●ヒ之部

末廣町三番地

一平田商店

末廣町十番地

三平田商店

萬金物諸
器械類

金物度量
衡販賣

長短靴改
良製造

筆墨紙
販賣

清酒東鶴
醸造元

諸國產物
繩筵販賣

末廣町六十三番地角

平山商店

富岡町貳番地

廣廣田商店

鶴岡町五十八番地

東出長四郎

●キ之部

仲濱町貳番地

森山岩藏

●七之部

西洋菓子製
造御小賣

相生町二十間坂上

精養軒

茶器紅蓋物帳
簿書紙販賣

末廣町九十八番地

静光堂

和菓子製
造小賣

末廣町

千秋庵

新古洋服毛
布肩掛類

末廣町二十五番地

正柳組

●ス之部

洋製製造
卵餅小賣

末廣町百四十九番地

丸善菅谷商店

東濱町棧橋前

全鈴木澤造

海産物
荒物商
牛鶏豚肉
卸小賣

末廣町南

下鈴木商店

明館ニ於ケル辨護士、醫師、中重ナル人物ヲ擇ンテ識者ニ紹介スルハ大ニ裨益アルコト、修シタルヲ以テ特ニ一欄ヲ設ケテ登載スルコト、セリ讀者乞フ諒セヨ

第十三

●辨護士、醫師

(シは順)

地瀨町四十九番地 辨護士 稻垣 勝三

會所町四十九番地 法學士 辨護士 鬼頭 玉汝

味町壹番地 全 高橋文之助

會所町十七番地 全 三坂 亥吉

會所町五十貳番地 全 馬場 民則

青柳町五十二番地 全 關 農夫雄

會所町六十六番地 全 陸奥原 徹

會所町二十二番地 全 鈴木 作内

富岡町壹番地 全 八木六兵衛

會所町四十九番地 全 須賀 芳久

旅籠町七十番地 全 八木橋榮吉

●醫師

(スは順)

全六番地 全 寺田 德助

●イ之部

大町二十二番地	內外科伊藤藤三	會所町五十一番地	全	田澤謙	
西川町七十番地	飯田廉平	富岡町四番地	全	田卷松榮	
遠菜町百三十六番地	萩原精一	大町十四番地	齒科	高木五三郎	
遠菜町百五十五番地	千葉準三郎	相生町七番地	內外科	大條龍太郎	
寶町三十五番地	大倉健藏	元町三番地	眼科	田中舍平	
末廣町二十五番地	齒科 大月龜太郎	全	全	武村敬太郎	
會所町廿番地	醫學士 內外科 渡邊健藏	汐留町十二番地	全	田村順泰	
東濱町	全	吉田茂人	西川町十四番地	全	高橋米治
相生町七十三番地	全	渡邊元仲	大町四十四番地	內外科	植山淳平
大黒町百三十番地	內外科 橫山彰	惠比須町七番地	全	內田義久	

末廣町二十八番地	內外科 桑原慶太郎	青柳町一番地	內外科	佐野右馬之助	
大黒町四十四番地	全	松田定夫	會所町五十五番地	全	櫻井直一
船場町二十二番地	全	丸山浦次郎	會所町	全	櫻井恕一
船見町五十八番地	全	深瀬鴻堂	鍛冶町十五番地	全	佐藤良仲
會所町十八番地	全	深瀬洋春	會所町二十六番地	全	由利隆
會所町五十一番地	全	藤野玄洋	會所町二十六番地	全	由利良謙
惠比須町七番地	婦人小兒科 藤野常治	鍛冶町三十二番地	全	瀬川雅夫	
會所町五十六番地	齒科 小堀乾三郎	末廣町八十番地	全	關野峯太郎	
西川町二十六番地	內外科 小池精一	相生町六十七番地	全	世良田賢秀	
富岡町六十番地	全	遠藤隆則			

第十四

●土木請負師

(ゆると順)

函館ハ土木事業ノ起スヘキモノ多ク從ツテ之レガ請負ニ從事シルモノ幾ント四十有余名アリ悉ク之ヲ掲グルハ煩ニ過クルノ恐レアルヲ以テ今左ニ業務隆盛ニシテ信用アル一二ノ請負師ヲ掲ケテ之ヲ示サン

森町二十四番地

岡田 篤治 元町十五番地

森川 菊藏

相生町二十六番地

山口利太郎 真砂町

森川 由松

西川町二十六番地

福田 由松

第十五

●重ナル寫真師

(ゆると順)

相生町川

井田 倭吉 相生町八十八番地

古谷 徳三郎

會所町十六番地

田本 研造 惠比須町

紺野 寫真館

實町一番地

小泉 森一 大黒町四十九番地

富浪 増平

第十六

●回漕店並ニ其狀況

(ゆると順)

函館ハ運輸交通ノ頻繁ナル所ニシテ回漕店ノ多數ナルニモ拘ハラス其多忙ナル實ニ一書ヲ喫スヘキナリ今左ニ元扱店又ハ代理店ニ係ル分ヲ記シテ讀者諸君ノ參考ニ供ス其運賃ノ如キハ乞フ荷客運賃ノ部ニ就テ看ラレヨ

東濱町

松前商船株式會社元扱店

岩田回漕店

巴港丸外取扱店

東濱町

松前運輸株式會社元扱店

岡飯岡回漕店

通嶋丸外取扱店

東濱町

運輸業

函館運漕舎

康安丸外取扱店

仲濱町

龜持丸外取扱店

寺竹内回漕店

水勢丸代理店

東濱町

中村回漕店

東濱町

山崎回漕店

東濱町

丸北回漕店

東濱町

阿部回漕店

東濱町
元坂店

東濱町
佐藤回漕店

東濱町
膳振丸外
取坂店

東濱町
大樋口回漕店

東濱町
巴港丸外
取坂店

東濱町
キ佐々木回漕店

東濱町
千嶋丸外
取坂店

東濱町
全鈴木回漕店

東濱町
松前運輸株式
會社元坂店

東濱町
宮本回漕店

東濱町
金森回漕組ハ所有漁船ノミナ取扱ヘリ
町平出海運部モ亦々同様ナリ

第十七

●旅人宿並ニ下宿屋其狀況

(いろゝ順)

兩縣ハ北部ハ良港ナルカ故旅客ノ來往頗ル盛ク從ツテ旅人宿營業者ノ數モ數十ノ多キニ及
ベリ而シテ左ニ掲ケルモノハ旅店中著名ナルモノニシテ家構料理待遇等何レモ優劣ナク味
兼親切ナリト云フナリ

東濱町

和和田惟一

東濱町

冬勝田彌吉

東濱町

岡七郎兵衛

東濱町

朴中村茂七

尙ホ左ニ記スル旅店モ誠實ニシテ盛大ニ營業シ居レリ

東濱町

四川口善太郎

豊川町二番地

今内山旅店

仲濱町

三田邊三吉

東濱町

長納代東平

兩館ニハ旅人宿ノ充分ナル割合ニ適當ノ下宿屋ニ乏シ尤モ會所町相生町地蔵町邊ニ營業人
夥多アルモ何レモ不完全ノヨフ思ハル左ニ載スルモノハ兎ニ角丁寧ニシテ而カモ業務盛大
ナル分ニ係ル下宿料ハ上中下アリテ大概一ヶ月五圓以上拾圓以下ナリ

會所町八幡坂

函館旅館

會所町一帯地

冬下宿屋

會所町

仙下田屋

元町十八番地

冬筒井モト

第十八

●雇人請宿並ニ其狀況

(いろゝ順)

北海道ハ漁業地ナレバ鮎、鯨、其他ノ漁期毎ニ漁夫トシテ内地及ヒ本道ヨリ出稼スルモノ實
ニ二方有余ニ及ベリ而シテ是等ハ概子函館ノ雇人請宿ノ手ヲ經ルモノナリ左ニ記スルモノ

ハ何レモ旅人宿兼雇人請宿ニシテ漁場及ヒ市内雇人トモ誠實以テ被雇人ノ便益ヲ計ルガ故
業務頗ル盛ニナリト云フ

末廣町四
十五番地
鶴岡町七十番地
東瀬町三
十八番地

分 磯谷市助
同 加藤本店
支 店

地蔵町
地蔵町四番地
柳田稻太郎
朴越後屋

第十九

● 商工會

函館ニ商工會ナルモノアリテ事務所ハ富岡町會所ノ内ニアリ會員幾ント七拾名余前シテ
其爲ス所ハ例會アリ臨時會アリテ商業上諸般ノ調査ヲナシ以テ公私ノ便益ヲ計リ或ハ商業
上緊急ナル問題ニ付キ辨難討議シテ利害ノ存スル所ヲ究メ或ハ商習慣ヲ維持或ハ矯正シテ
商業ノ進歩ヲ企圖シ或ハ官署ノ諮問ニ答ヘテ輿論ノアル所ヲ表白スル等實ニ前途頗母歎一
團體ナリ然レモ只體ヲクハ例會臨時會ヲ開ハス何時モ欠席者多クシテ延會又ハ延會ナルモ
トテ詰ヲ接ヘテ之ヲ言ヘば堂々タル會同ニシテ商工會ノ責任重且ツ大ナルコトヲ示却シ居

ルモノ、如シソハトモアレ編者ハ本冊子ヲ以テ商工會設立已來ノ歴史又ハ重ナル事項ヨリ
商工會員ノ氏名ニ至ル迄悉ク掲載シテ讀者諸君ニ紹介スルノ心算ナリシカ記事多クシテ本
意ヲ果スコト能ハス遺憾ナガラ茲ニハ大体ニ止メニ版ヲ俟テ詳録スルコト、セリ其詳細ヲ
知ラント欲スルモノハ乞フニ版ノ出ツルヲマテ

第二十

● 商業十三組合

函館ニ商業組合ナルモノアリ其目的ハ弊ヲ矯正シテ商業實業ヲ重ンズルノ美風ヲ養成シ
以テ各自ノ商業ヲ擴張スルニアリト而シテ函館モ人口ノ増殖ト世運ノ進歩トニ從ヒ従前ノ
取引法ニテハ到底満足スルコト能ハス大ニ商取引ヲ改良セザルベカラザル時機ニ達シタル
ヲ以テ以下ニ記スル所ノ組合外ノ各商業家ニ於テモ今ヤ漸ク組合ノ必要ナルコトヲ覺トリ
續々組合組織ノ事ヲ唱道スルモノアリト實ニ商業ノ一進歩ト云フハシ
果服商組合 荒物商組合 菓子商組合 米穀酒醬油商組合 物産商組合 旅人宿營業組合
小間物商組合 村木商組合 青物商組合 古物商組合 質屋營業組合 理髮營業組合
出屋營業組合

第二十一 ● 社寺

◎ 國幣小社八幡宮ハ青柳町公園ノ奥谷地頭町ノ山腹ニアリ今チ距ル二百四十餘年前慶安年間巫伊知女ノ奉仕スル所ニ係ル社側ニ神饌所幄舎社務所及ヒ神官官舎アリ社内ハ樹木蒼鬱清雅幽邃ナリ而シテ同社ハ函館鎮守ノ神社ナルヲ以テ毎年八月十五日ノ祭日ニハ各戸皆業ヲ休シ神酒ヲ酌ミ祝宴ヲ張リ夜ハ球燈ヲ點シ各町競フテ山車或ハ手踊 生花等ノ趣向ヲナシ境内ハ勿論公園内ヨリ新藏前通ニカケ常ニ十倍スルノ諸興行アリテ其喧擾實ニ筆紙ノ盡ス所ニアラス尙ホ詳細ノ事ハ二版ニ譲ルコトノセン◎ 山ノ上大神宮船見町ニアリ天和年中龜田村ヨリ遷ル今チ距ル二百十年◎ 船魂社元町ニアリ保延年中創建延享四年重修ス今チ距ル七百九十餘年◎ 住吉神社住吉町ニアリ明暦元年鎮坐ス今チ距ル二百三十八年◎ 海神社ハ西川町ニアリ安永九年創建ス今チ距ル百十三年◎ 寶永稻荷神社ハ船見町ニアリ寶永年間創建ス今チ距ルコト百八十餘年◎ 招魂社ハ汐見町ノ一段高キ所ニアリ明治二年己巳勤王戰死者ノ靈ヲ祝ル同年九月創建十年七月松前修廣氏等金ヲ獻シ拜殿ヲ建テ有地行古等數人碑ヲ建ツ高サ九尺餘清水谷總督文ヲ撰シ其勳勞履歷ヲ表旌ス境内廣野眺望絶影ニシテ古松幽鬱タリ◎ 辨名寺ハ淨土宗善光寺ノ末僧願説ノ開基ニ係ル正保元平龜田村ニ創立シ寶永五年函

館富岡町ニ移リ明治十四年八月船見町ニ轉ズ今チ距ルコト二百四十九年(當時ノ住職吉水定穩)◎ 高龍寺曹洞宗法源寺末僧芳龍ノ開基ニ係ル寛永十年五月龜田村ニ創立シ幾バクナクシテ函館辨名町ニ移リ明治十二年六月臺町ニ轉ズ今チ距ルコト二百六十年(當時ノ住職上田大法)◎ 實行寺ハ日蓮宗僧口淨ノ開基ニ係ル明暦元年上町ニ建立シ正徳四年富岡町ニ移リ明治十四年十一月船見町ニ轉ズ今チ距ル二百三十八年(當時ノ住職松尾潮圓)◎ 大谷派別院齋壇寺ト稱ス眞宗僧淨玄ノ開基スル所ナリ寶永八年木古内村ニ創立シ寶永五年函館富岡町ニ移リ明治十三年元町ニ轉ズ今チ距ルコト百八十五年◎ 本願派別院安政四年東川町ニ開始ス◎ 眞言寺ハ僧石山寛純ノ開基ニ係ル天保十一年當時ノ函館奉行堀利濂ノ創立スル所ナリ(當時ノ住職石山寶山)臺町ニアリ◎ 新善光寺安政六年ノ創立ニ係ル(當時ノ住職正田存光)◎ 常住寺ハ甲斐國身延山日蓮宗本山久遠寺末派明治十二年創立ス相生町ニアリ(住職末定)◎ 高野寺ハ明治十七年ノ創始ニ係ル青柳町ニアリ◎ 新注連寺ハ明治廿四年ノ創始ニ係ル相生町ニアリ◎ 右ノ外天台宗大祐寺住職高築亮岩眞言宗慈尊寺住職蒲田愛眞言宗新注連寺齊藤岩榮等ナリ

第二十二 ● 官 衙

函館區役所八元町ニアリ明治十二年七月元開拓使函館支廳ノ中ニアリ全十七年船見町收稅局址ノ建物ニ移リ全十九年復ビ元町現今ノ所ニ轉ス(即チ河野加賀守ノ館址ナリ)而シテ是迄從前ノ古建物ヲ其儘用ヒ來リタルヲ以テ函館ノ區役所トシテハ隨分見苦シク且ツ不便ナリシカ明治二十六年中總建坪二階建平家建トモ四百二十二合五夕ニシテ其總額金六千三百〇七圓九十八錢五厘ヲ以テ新築シタリ今其間取テ配サンニ右側詰所出納係、租稅係、三十二坪五合、左側詰所庶務係、教育係、衛生係、戶籍係、事業係、三十二坪五合、應接間十四坪二室、二階議事堂五十六坪一室、二階廊ト延長二十一間三十九坪、二階左側商議室十八坪五合、應接所十三坪五合、二階左側應接所十八坪五合、全中間書記官官室九坪、全左側外事係詰所十坪五合、平家建ノ分宿直部屋九坪、水道係二十六坪七合五夕、厨及小使部屋二十二坪七合五夕、等ナリ(函館沿革略史ノ部參看)◎函館稅關ハ舊連上所ト稱ス安政六年六月函館開港ノ當時辨天町山田某ノ宅ニ仮設シ尋テ万延元年大町内洲間ノ間ニ設ク明治五年仲濱町ニ建設シ函館連上所ト稱シ六年一月稅關ト改稱シ大藏所管ニ歸ス◎舊函館改船所實政十一年正月幕府沖ノ口番所ヲ廢キ文政二年十二月沖ノ口役所ト改ム明治二年九月之ヲ海官所ト爲シ全三年十二月海官所ヲ改テ海關所ト稱ス全八年二月改船所ト改稱シ尋テ船改所ヲ廢シテ水上警察所ヲ置キ現今函館警察署ノ分所ヲ置キ出入ノ船舶ヲ點檢ス◎裁判所ハ沙見町ニシテ函館控

訴院 函館地方裁判所、函館區裁判所、二構ノ内ニアリ何レモ木造洋館ニシテ規模宏壯高少雲際ニ穴突シ函館警察署中第一ノ美觀ナリ◎函館郵便電信局ハ末廣町ト大町ト境界ナル角ニアリ明治五年七月創設シ函館東京間ノ線路ヲ開ク九月函館青森間ニ氣船ヲ備ヘテ交通ノ便ヲ計ル全二十年電信局ヲ併セテ今ノ名稱トナシ◎右ノ外國館一等測候所青羽町監獄支署龜田村函館警察署富岡町等ナリ

第二十三 學校

◎官立函館商業學校ハ元町ニアリ明治十九年函館師範學校ヲ廢シ尋テ商業學校ヲ開設セリ而シテ現今ノ所ハ明治二十三年中新築落成シタルモノニシテ其已前ハ區役所構内ノ古建物ヲ以テ教場ニ仮用シ居レリ生徒百有餘名アリ◎商船學校分校ハ銀治町ノ角ニアリ明治十二年六月富岡町稱名寺内ニ函館商船學校ヲ開設シ後内洲町西濱町等ニ轉々シテ終ニ現今ノ所ニ移轉尋テ新築スルニ至レリ全二十四年中函館商船學校ヲ廢シテ東京商船學校ノ分校トナレリ◎公立彌生小學校ハ天神町ニアリ高等尋常併置ニシテ生徒男女合計七百五十名◎公立寶小學校ハ寶町ニアリ高等尋常併置ニシテ生徒男女合計七百〇八名◎私立幸小學校ハ銀治町ニアリ高等尋常併置ニシテ生徒男女合計三百四十六名◎私立堀川小學校ハ相生町ニ

アリ高等尋常併置ニシテ其己前ハ惠比須町ニアリシモ明治二十四年中現今ノ所ニ新築シタルモノニシテ木造洋館ナレドモ外觀頗ル美ナリ生徒合計三百數十名◎私立豊川小學校ハ豊川町ニアリ尋常科ニシテ明治二十五年中新築シタルモノニシテ是レ亦タ美觀ナリ生徒男女合計百數十名◎私立住吉小學校ハ青柳町ニアリ高等尋常併置生徒男女合計二百三十名◎私立東川小學校ハ東川町ニアリ高等尋常併置ニシテ生徒男女合計三百五十名◎私立高砂小學校ハ高砂町ニアリ高等尋常併置ニシテ生徒男女合計二百八十名◎私立濱野小學校ハ天神町ニアリ尋常科ニシテ生徒男女合計九十名◎私立濟美小學校ハ鍛冶町ニアリ尋常科ニシテ生徒男女合計三十名◎私立若山小學校ハ天神町ニアリ尋常科ニシテ生徒男女合計百七十名◎私立元町小學校ハ元町ニアリ尋常科ニシテ生徒男女合計二百名◎私立一貫小學校ハ寶町ニアリ尋常科ニシテ生徒男女合計百名余而シテ校舍ハ明治二十六年中新築落成シタルモノナリ◎鶴岡小學校ハ鶴岡町ニアリ簡易科ニシテ生徒男女百七十名◎古川小學校ハ香羽町ニアリ尋常科ニシテ生徒男女四十五名◎私立六和女學校ハ曙町ニアリ尋常科ニシテ生徒八十名◎私立吉祥女學校ハ地蔵町ニアリ尋常科ニシテ二百六十名余アリ◎私立惠以小學校ハ東川町ニアリ簡易科ニシテ生徒二百名余是レハ慈善主義ヲ以テ區内有志者ノ設立ニ係ルモノナリ○右ノ外ニ函館女子高等小學校一ヶ所幼稚園一ヶ所又タ米國人ノ設

立ニ係ル遺愛女學校佛國教會ノ管理スル聖保羅女學校舊館内ニ設置セル正教學校英國教會ニ屬スル靖和女學校英國人ラアセル氏ヲ設立ニ係ル英語學校ノ五校アリテ生徒幾シト四百名餘ナリ

第二十四 ● 病院

函館公立病院ハ御殿坂區役所ノ下ニアリ木造ノ洋館ニシテ可ナリノ建物ナリ周圍ハ蒼々タル樹木繁茂シ高燥ノ地ナルヲ以テ空氣ノ流通亦極メテ宜シク院長佐藤醫學士ヲ始メ其他ノ醫師丁寧親切ニ患者ヲ診察スルヲ以テ大ニ評判ヨロシ
 公立豊川病院ハ豊川町ニアリ院長ハ後藤厚氏ニシテ氏ハ老練家ナルヲ以テ是レ亦タ評判惡カラス入院患者日ニ増シ増加スト云フ
 此他私立ニテ深瀬病院(船見町五十八番地)院長深瀬鴻堂氏 湖留病院(汐留町十二番地)院長田村泰順氏 五陵眼科醫院(元町四十三番地)主任田中舍平氏 眼科病院(惠比須町七番地)院長内田義久氏 函館模倣院(會所町二十六番地)院長由利良謙氏 濟生病院(末廣町八十番地)院長岡野峯太郎氏 等ニテ何レモ患者ニ接スルニ懇切ニ諸事注意ノ到レルヲ以テ中々盛シナリト云フ

第二十五

● 會社、銀行

◎日本昆布株式會社ハ船場町二番地ニアリ明治廿五年五月ノ創業ニシテ資本金五十万圓其業務ハ支那貿易ヲ擴張シテ北海道昆布ノ價格ヲ平準ナラシムルニアリ◎大日本帝國水産株式會社所館支店ハ末廣町十四番地ニアリ支配人ハ松下熊樵氏ニシテ創業ハ明治廿一年十一月資本金ハ七十五万圓業務ハ水産業、委託販賣、荷爲替等ニテ社業隆盛ナリ◎北海道共同株式商會ハ仲濱町二十六番地ニアリ頭取ハ遠藤吉平氏ニシテ創業ハ明治十七年五月資本金拾万圓ナリ而シテ業務ハ諸物産委託販賣ニシテ信用厚ク中々盛ナリ◎函館汽船株式會社ハ船場町二十一番地ニアリ社長ハ廣谷順吉氏創業ハ明治十九年三月業務ハ海運業ナリ◎北海道セメント株式會社ハ東濱町十九番地ニアリ創業ハ明治二十三年四月社業ハセメント製造販賣社長ハ阿部眞人氏ニシテ評判頗ルヨシ◎日本郵船會社所館支店ハ船場町ニアリ支配人ハ久保扶桑氏ナリ◎三井物産合名會社所館支店ハ大町三番地ニアリ業務ハ諸物産委託販賣荷爲替等ニシテ頗ル頻繁ナリ◎内國通運株式會社支店ハ大町四十三番地ニアリ支配人ハ本澤太郎氏ニシテ業務益々盛ナリ◎船具賣捌會社ハ仲濱町三十二番地ニアリ支配人ハ笹野文十氏ニシテ具亦々信用アリ◎函館運漕會社東濱町ニアリ支配人ハ村山紋太郎氏ニシテ業務

ハ海運業ナリ◎第百十三國立銀行ハ東濱町ニアリ頭取ハ杉浦嘉七氏ニシテ資本金ハ貳拾万圓各地新爲替預リ金等業務頗ル頻繁ナリ◎第二十國立銀行支店ハ東濱町二十六番地ニアリ支配人ハ砂澤正俊氏◎第三國立銀行支店ハ末廣町八番地ニアリ支配人ハ山田彌吉氏◎合名會社三井銀行支店ハ末廣町九番地ニアリ支配人ハ辻傳吉氏等ニシテ何レモ信用厚ク各地爲替取組預リ金等手續ク取引シ居レリ◎鹽川町五十六番地安田銀行出張所ハ明治二十五年中ノ創立ナルモ爲替取組株券賣買古金銀賣買等頗ル盛ナリ◎日本銀行函館出張所ハ末廣町一番地ニアリ此他東京海上保險株式會社支店ハ大町三番地三井物産會社支店內ニ明治生命保險會社代理店ハ東濱町第二十國立銀行支店內 砂澤正俊氏帝國海上保險株式會社代理店ハ第三國立銀行支店內 水野源石衛門氏帝國生命保險株式會社代理店大町等ニテ海上生命共ニ保險ヲ申込ムモノ日一日ヨリ増加スト云フ

第二十六

● 新聞社及活版所

函館ニ六新聞ニ雜誌アリ巴港社ハ北海(辨天町五十三番地)北濱社ハ函館新聞(富岡町五番地)北海民報社ハ北海民報(會所町)北海自由新聞社ハ北海自由新聞(末廣町)北のめさまし新聞社ハ北のめさまし(曙町)廣告新聞社ハ廣告新聞(惠比須町)商業新聞社ハ商業新聞(辨

時ハ閑人遊子ノ筈ヲ枉ク綠陰深キ處涼ヲ納ル、者亦タ窮カラス實ニ當區第一ノ遊園地ナリ
 コ、ニ一名物アリ櫻餅是レナリ擔漬ノ櫻ノ葉ヲ以テ餅ヲ包ミシモノナリ風味最モ佳ナリ此
 元祖ヲ「ダルマ」店一名晴眼亭ト云フ茶器其他總テ「ダルマ」ノ形ヲ刻セリ之レニ次グモノヲ
 齋店ト云フ是レ亦タ盛ンナリ又タ園内ニ共同館ナルモノアリ木造ノ洋館ニシテ内外貴顯ノ
 休泊所ニ充テ傍ヲ西洋料理ヲ調進ス公園入口ニ靜風庵ナルモノアリ萩ノ餅ヲ以テ有名ナリ
 尙ホ園内ニ第一商品陳列所〔詳細ハ別項ニ配ス〕第二商品陳列所及ヒ水産陳列所等アリテ衆
 庶ノ縱覽ニ供シ又タ園ノ傍ヲニ群芳園ナルモノアリ種々ナル盆栽ヲ始メ梅菊ノ如キ四季
 折々ノ植物ヲ培養シテ勝手ニ縱覽セシムル等實ニ趣味アルコト共ナリ殊ニ別項ニ記スル金
 地頭ノ光景ト相待テ一層ノ風致アルヲ覺フ又タ園ノ北偶一段高キ所ニ紀念碑アリ其碑文ハ
 小牧昌業氏ノ撰スル所ニシテ聊カ公ト開築ノ事ヲ知ルニ足ルヲ以テ採テ以テ之ヲ載スルコ
 ト、セリ

◎函館北海道之門戶也環山抱海當海陸之衝北控全道南接陸羽爲北方大都會者諸忠乘常蝦夷
 荒昧之時其事蹟不可得而詳焉文安中有河野氏者據此及松前氏治蝦夷建關其近邑地田以贖行
 人函館山其著寬政以降北徼多事幕府番番館奉行以鎮撫蝦夷地迨其與歐米各國訂盟開五口通商
 函館居其一於其海舶洋貨往來不絕日益殷盛明治初番開拓使統轄全道開拓使設支廳于此管民

外交之事以謂民生之漸繁執業之甚勤而無所以安慰之者非一張一弛之道也乃謀創公園以供人
 民游覽之娛於廳之南谷地頭以官地若干充之市民波邊熊四郎等聞有是舉或納貲或獻地以助工
 今函館縣令時任君時以使員長干長支廳乃命熊四郎等任公園開築之事其庭池裝修則專委之淺
 田清次郎而今大書記官有竹君董役各踴躍從事始於明治十一年三月訖於翌年十一月園廣方
 一萬四千六百步西南負山樹林蒼鬱東對大瀧混茫無際其北則港口風帆煙樯隱見千碧波激之中
 而園內泉石花艸點綴布置極雅幽秀之陵又設博物之館陳列本道物產奇珍異貨光怪陸離於是
 乎士之官於斯者商工行旅之業於斯出於斯者各以暇日徜徉園中游焉息焉娛其耳目而休其神思
 夫函館之始成市聚不過百數十年承平日久人民漸集鬱之荒煙蕪草熊狼嗥而麋鹿群者悉化爲民
 居市廛櫛比衢路縱橫而興隆之運方未有艾昔日之歎人煙寥寥者今則人皆厭其煩囂紛擾欲尋清
 閒之區曠傲之觀以資游覽、快而公園之設適中其所求宜歡欣奮而助成之也抑又國家治化之
 隆而爲民上者善其便悉心經營故能至此焉爾嗚呼百餘年來時運否泰民生休戚之故其亦可
 思也哉時口若厲余以記文刊刻石園中余前奉職於使廳得悉斯園所由設之意故不敢辭而述其梗
 概如此云

明治十五年十一月

大政官大書記官從五位勳四等

小牧昌業撰

修史館監事從五位勳五等

巖谷 修書
井龜泉刻字

◎碑ノ裏ニ公園開築從事者ノ姓名ヲ記セリ即チ以下ノ如シ 開築專務淺田清次郎、全世話掛常野正義〔函館區長勤務中〕渡邊熊四郎、平塚時藏、平田文右衛門、今井市郎右衛門、岩船峯次郎、菊池治郎右衛門、新榮幸平

第二十九

●商品陳列所並ニ縦覽心得

◎商品陳列所ハ舊第一第二ノ博物館ニシテ本道ノ物産奇珍異貨ヲ蒐集シテ内外人ノ縦覽ヲ許シ來リシガ明治二十五年中博物館ヲ廢シテ商業學校附屬商品陳列所トナシ本道ノ物産ハ勿論廣ク内外ノ商品ヲ陳列シテ商業學校及ヒ諸學校生徒ノ商品學研究ノ材料ニ供シカ子テ内外國人ノ縦覽ヲ許シ居レリ土人ニ關スルコト又ハ本道産物ノ詳細ヲ知ラント欲セバ縦覽券五厘ヲ抛チ該所ヲ一覽セバ大ニ益スル所アルベシ左ニ記スルモノハ其縦覽心得ナリ
一本所ハ内外國人一般ノ縦覽ヲ許ス 一縦覽人ハ必ス縦覽券ヲ買受ケ監守人ニ渡シ縦覽スヘシ尤モ十歳未満ノ者若クハ諸學校生徒ニシテ取調ヲ要スル場合ニハ其校ノ証明アル者ニ限リ該券ヲ要セス 一本所ハ月曜日ヲ除クノ外日々開所ス 一場中木履及杖又ハ嵩高ノ物

品ヲ携帶シ或ハ畜類ヲ牽キ入ル可カラス 一場中喫煙ヲ許サス 一風爐及白痴醋酐ノ者ハ縦覽ヲ許サス 一陳列ノ物品ニ許可ナクシテ手ヲ觸ル可カラス 一此規程ニ違背スル者ハ退去セシム 函館商業學校

◎右ノ開閉時間ハ午前九時ヨリ午後四時迄

第三十

●水産陳列所並ニ縦覽心得

◎水産陳列所ハ公園内第二商品陳列所ノ後部一段低キ所ニアリ廣ク水産物ヲ蒐集シテ内外人ノ縦覽ニ供シ本道ノ漁業上間接直接ニ利益アランヲ欲シ建設シタルモノナリ漁業家商業家ヲ問ハス往テ一覽セバ益シ益スル所少カラザルベシ左ニ記スルモノハ其縦覽心得ナリ
一本所ハ内外人一般縦覽ヲ許ス 一縦覽人ハ必ス縦覽券ヲ買受ケ監守人へ渡シ縦覽スヘシ尤十歳未満ハ該券ヲ要セス 一日々開場日曜日ノミ之ヲ開カズ但シ開閉時限ハ別ニ場外ニ掲示スヘシ 一場中木履及杖又ハ嵩高ノ物品ヲ携帶シ並ニ喫煙スルヲ許サス 一陳列ノ物品ニ手ヲ觸ルヘカス 一此規程ニ違背スル者ハ退去セシム 北海道廳

◎右ノ開場ハ午前九時閉場ハ午後四時ナリ

第三十一

●谷地頭ノ光景並ニ温泉

◎谷地頭町ハ青柳町公園ノ地蔵ニシテ一段低キ所ニアリ東ハ尻澤邊ノ漁村ヲ控ヘ北ハ公園西南ハ函館山ヲ負ヒ人家少クシテ中間軟草ノ空地多ク恰モ一大運動場ヲ人家ヲ以テ柵シタルガ如シ西ニ國幣小社八幡宮アリ南ニ淺田屋、柳川ノ割烹店アリテ共ニ有名ナリ尤モ柳川ハ生蕎麥ヲ以テ名アリ又タ名物ノ葛餅屋〔阿部アサ〕アリ蒲燒、鮎ニテ思君樓アリ又タ公園裏門ノ下ニ勝田樓ナルモノアリテ旅人宿ト會席料理トヲ兼子大ニ評判ヨロシ故ニ春夏ノ候ハ勿論積雪路ヲ塞グノ時ト雖モ粹士標客ノ遊ブモノ多ク劉曉タル絃歌ノ音絶ヘザル程ナリ

◎谷地頭ニ温泉アリ一チ勝田ト云ヒ一チ今野ト云フ泉質ハ硫化性ニシテ温度ハ華氏ニテハ十五度アリ今其効能中著名ナルモノヲ掲グレバ「リウマチス」痔疾、疾毒、婦人産後ノ腰痛其他胃病等ニシテ近年其名漸クヒロマリ函館ハ勿論内地杯ヨリ湯治ニ來ルモノ日一日ヨリ増加スト云フ

第三十二

●下湯ノ川温泉場

龜田郡下湯ノ川村ハ函館ヨリ海濱ニ浴フテ東ニ距ルコト二里余ニシテ有名ノ温泉場ナリ而シテ函館ト下湯ノ川村トノ關係ハ恰モ横濱ト神奈川トノ關係ナルガ如ク函館アリテ始メテ下湯ノ川村今日ノ繁昌ヲ來シタ。次々ナレバ今全村ヲ以テ函館ノ一遊地トシ茲ニ其概要ヲ記スルモ取テ無益ニアラザルベシ緒テ下湯ノ川ハ漁業地ニモアラズ亦タ農業地ニモアラザレバ從前ハ極寒村僻地ナリシモ明治十九年中函館ノ石川某全地ニ於テ温泉ヲ發見シタルヨリ各競フテ所々ニ發見シ或ハ別荘或ハ浴場或ハ割烹店等續々建築開業シタルヲ以テ終ニ今日ノ盛況ヲ來スニ至レリ此カニ聞ク概近函館ト下湯ノ川村トノ間ニ鐵道布設ノ計畫ヲ爲スモノアリト以テ全地ノ眞況ヲ知ルニ足ルベシ然リ而テ全村ハ後ニ山ヲ負フテ海ニ面スルノ地勢ナレバ自然山海ノ眺望ニ富ミ又タ新鮮ノ魚類ニ乏シカラザレバ保養地トシテハ實ニ屈強ノ所タリ故ニヤ函館其他ヨリ來遊スルモノ日一日ヨリ増加シ毎年夏季内外ノ軍艦碇泊中ノ如キハ殊ニ繁昌ヲ極ムト云フ今左ニ記スルモノハ各屋内ニ浴場ヲ設ケ宿屋營業ト割烹店トヲ兼子テ著名ナルモノナリ

◎石川浴場 ◎湯成館 ◎洗心館 ◎林長館 ◎下湯ノ川村ヲ距ルコト二十町許ニシテ湯ノ澤又タ瀧ノ澤ト云フ所アリ湯ノ澤ハ温泉アリテ頗ル天然ノ風致ニ富ミ函館ノ市神岩鼻某ノ別荘アリ瀧ノ澤ハ紅葉ヲ以テ名アリ又タ眺望ニ富ミ故ニ二者共ニ冬時積雪ノ候ヲ除クノ外ハ文人雅客ノ筈ヲ枉ケ杖ヲ曳クモノ甚タ多シト云フ

第三十三

● 五 陵 廓

五陵廓ハ龜田郡ニ在テ函館ヲ距ルコト一里餘安政二年函館奉行竹内保徳堀利濫等ノ建築スル所ニ係ル全三年大ニ功ヲ興シ元治元年ニ至テ竣功ス土壘五稜形ヲ成シ周圍濠アリ龜田川ヲ引テ之レニ注ク周圍約子千九百間高サ約子一丈五尺而徑約子百八十間地積五万四千二百二十二坪アリ明治元年五月函館奉行杉浦誠廓ヲ官軍參謀ニ致ス此月裁判所ヲ置ク全十月徳川氏崩走ノ後陷テ此ニ據ル明年五月事平クノ後此ヲ函館ニ移シ開拓使ノ管轄ニ歸ス全六年陸軍省ノ所管トナル而シテ五陵廓ハ有名ナル水ノ産地ナリ寒風厲ク裂クノ候積雪ヲ踏破シテ製氷ノ實況ヲ見物ニ出懸ルモ内地人杯ニ取リテハ又々頗ル興アルコトナラン

第三十四

● 勸 工 場

函館區内四勸工場アリ其比須町ニ第一勸工場アリ西川町ニ第二勸工場及ヒ正札勸商場アリ大黒町ニ勸工場而シテ第一勸工場ハ塲内モ他ノ勸工場ニ比コレバ故ク陳列品モ亦ク能ク整頓シアルヲ以テ尤モ繁昌セリ之ニ亞グテ第二勸工場トス塲内モ可ナリニ廣ク北繁昌モ先ツ第一勸工場ニ優テザル方ナラン正札勸商場ハ大道ノ洋館ニシテ外觀ハヨクレドモ出品何時

モ不整頓ニシテ塲内寂然タリ大黒町勸工場ハ塲所柄ノキ能所ニ在ルヲ以テ客足非常ニ繁キモ素見客多シト謂フ是等勸工場ノ主ナル賣品ハ和洋小開物類煙草反物袋物類瀧戸物勝手道具筆墨紙小説書類等ナリ

第三十五

● 割烹店附藝妓

函館ニ於テ割烹店ノ巨擘ヲ中島樓トス蓬萊町仲通ニアリ建築頗ル壯觀ニシテ樓上ニ大廣間等アリテ宴會集會ナドニハ至極適當トス之ニ亞グテ金仙樓、金中樓、小林亭、輪嶋樓ノ(何レモ蓬萊町遊廓内ニアリ)四ニシテ共ニ會席料理店ノ牛耳ヲ執ル其他蓬萊町清輝樓、鍛冶町林亭、末廣町丸茂樓等亦タ有名ナリ手輕料理ニテハ鍛冶町松ノ榮藤原美都、蓬萊町八〇樓、東濱町(丸河)小山島み等頗ル繁昌セリ 西洋料理ニテハ東濱町ノ五嶋軒、富岡町ノ臥牛館等評判最モ宜シ蒲燒ニテハ會所町ノ(入川)蓬萊町ノ(一入川)東濱町ノ泥川、大町ノ(山川)等最モ有名ニシテ而カモ盛ンナリ其他モ、ニテ蓬萊町(山田)印船真、牛鍋ニテ惠比須町森田支店、蕎麥屋ニテハ大黒町五十一番地(丸北)北盛樓(全支店四アリ)惠比須町ニ二ヶ所、蓬萊町ニ一ヶ所相生町五十一番地ニ一ヶ所(丸柏)柏屋、西川町一番地豊川等最モ著名ニシテ其味ヒ東京ニ優ルトモ劣ル所ナシト云フ

函館ニハ蓬萊町ニ一ヶ所鍛冶町ニ一ヶ所ノ見番アリテ何レノ割烹店モ内藝妓ヲ抱ヘ番クコトナシ而シテ右見番ニ附屬セル百數十ノ校書ハ妍婉タル玉貌婀娜タル風姿モテ狂人ヲ誘カシ俗客ヲ斃スヲ以テ淺街ノ如キハ夕曛既ニ收リ莫羅四望ヲ置テ燈火ヲ點スルノ頃ニ至レバ三絃ノ音四方ニ興リ實ニ不景氣知ラズノ別天地ヲ造出セリ今左ニ蓬萊街ノ校書中名望科流行科技藝科美貌科ニ於テ最モ優等生ナル一二ヲ(景亦タ申譯マデニ)掲ゲ出サン

柳吉、小きん、きち、たけ、三福、松壽、小吉、菊壽

第三十六 ● 遊廓附娼妓

函館ノ遊廓ハ東部蓬萊町西部臺町ノ二ヶ所ニシテ淺街ヲ吉原若クハ洲崎ニ譬フルヲ得ベクンバ臺町ハ夫レ新宿品川ノ位置ニ居ランカ而シテ淺街ハ從前ハ町外レノ未開地ニ相違ナキモ今日ハ市街ノ中央トモ云フヘキ所ニシテ遊廓トシテハ余リ威服セヌ場所柄ナリソワ兎モ角モ樓々ノ傾城多クハ雪ノ肌ノ本場所南部津輕福山及ヒ新潟邊ノ培養ニテ嬋妍タル容貌濃厚タル妙味能ク粹士遊客ヲ盪スニ足ル妓樓ハ總計三十軒ニシテ當時尤モ昌盛ナルヲ武藏野、梅香、金子ノ三樓トス之ニ亞グテ八幡、新八幡、品川、山、盛喜、宮川ノ諸樓トス所謂一等貸座敷ナルモノナリ御極ハ大枚一圓五十錢御開以後強便主義ヲ取リ敵婦ノ請求案ヲ却絶セザ

レバ菓子代ナドニテ一夜ノ遊藝二圓以上水泡ト立消ベシ藝妓呼ベノ號令下リ大盡氣取テ口ニ適フ肴ヲ進ヘトカ(ビール)ノ上等ヲ持來レナド意欲散テカシ有頂天ノ尻拔騒ハ又夕別價ト知ルヘシ尙ホ二等貸座敷ノ御極ハ一圓ナレドモ代價茶菓子ナド結局一圓五十錢余ノ散財トナルヘシ此他安價散財如何様可成御安直ニ千五百ト旦那御上リナサイマシヘ、ノトノ妓夫ノ詠笑ニ四十錢ヨリ卑カラテ六十錢ヨリ貴カラザル枕價ヲ定メ登樓シ得ベキ所モアリト云フ

函館ニハ引手茶屋ナルモノ一軒モナレバ一等貸座敷ト雖モフツツケニ登樓スルナリ而シテ函館ノ遊廓ヲ全部掲ケザルハ千ト不信切ニ當ルヲ以テ申譯マデニ武藏野樓、梅香樓、ノ類妓中朝ニ百金ヲ費ス豪商ヲ迎ヘ夕ニ千餘ヲ抛ツ婦客ヲ送ル全盛狀斜ニ鳴ル遊廓ヲ左ニ記セ

○武藏野樓(豐浦、今泉、峯鶴、吉野、小稻、小糸、相生、有明) ○梅香樓(白砂、白梅、園花、小菊) ○臺町ハ妓樓十一軒娼妓七十有余名ニシテ多ク船乘乃至漁夫ノ遊ブ所ナレバ蓬萊町ニ比シテハ到底較ヘ物ニナラス謂者推シ五ハンコトナ

第三十七 ● 劇場

函館ハ晩春ヨリ夏期ノ終ル頃マテ日中ハ公園地ヤ群芳園谷地頭ヤ尻澤邊等へ觀花散策ガ

テラニ出掛ル者多キモ夜ニ入レバ面白キ寄席モ少ク格別氣散ノ手段ナキ故劇場ハ随分大入
 叶ナリ殊ニ冬向ハ何一ツ目ニ樂マシムルモノナキ堪所柄ナレバ何時モ人氣立チ每夜何レモ
 三四百以上六七百以下ノ見物人アリト云フ區内ニ四劇場アリ即チ寶町池田座、全大和座、船
 見町渡嶋座、真砂町中嶋座ナリ而シテ池田座ハ建物モ随分壯觀ニシテ演館ノ劇場トシテハ聊カ
 耻カシカラス東京本場役者ノ乗込ムハ多ク此劇場ナリト云フ大和座ハ之ニ亞グノ建物ナル
 モ客足ハ取テ池田座ニ劣ラス渡嶋座モ可ナリノ建物ニテ興行毎ニ客足繁ク中島座ハ明治二
 十六年中新築落成シタルモノトモテ未タ時日モ淺ク勞々余リ評判宜カラス木戸錢ハ大概拾錢
 内外ニテ土間ハ悉皆退込棧敷ハ一間買切茶菓子附ニテ壹圓ナリ左レド當地ハ東京及ヒ大坂
 邊ノ如ク仲茶屋ナルモノナケレバ辨當酒肴杯ハ自宅ヨリ携帶スル方便利ナリ幕間ニハそし
 菓子茶鍋焼温鈍ナク南來ルモノ極メテ不廉ナリ

◎寄席ハ惠比須町竹内亭第一トス之ニ亞グチ大黒町改進黨トス其他西川町藏前等ニ二三
 ケ所アレド記スルニ足ラス因ニ記ス函館ハ講談落語ノ如キモノハ不向キニテ中以上ハ淨瑠
 璃山以下ハ浪花節左衛門ノ如キモノ大當リナリ第一人氣立ツハ相撲ニゾアル

第三十八 藏前ノ繁昌ノ附甲子町

藏前ノ藏前通ハ夜店ヲ以テ有名ノ所ナリ其買狀ヲ他ニ比較セバ東京ノ熱日祭ト鳥原トヲ搦
 交ゼタルガ如キモノナラン何ントナレバ種々多ノ野臺店ト私窩子トヲ以テ其光景ヲ保テ
 パナリ今其夜景ノ大略ヲ述ヘンニ兩側ノ露店ハ先ツ夏ハ水屋冬ハ芋屋ヲ旗頭トシテ果物駄
 菓子團子店ナリヤ蕎麥麵ニ天麩味噌煎豆賣ニ野菜賣揚弓店ニ射的店負ズ劣ラス燈ヲ限リニ
 客ニ勤ムル音ノ響ク中ニモ一層耳朶ニ響クハ古着ノ競賣ニ何テモ一錢九厘ト貳錢九厘ノカ
 ケ合ヒニゾアル其他古木屋ニ古道具屋アリ賣卜者ニ浪花節見世物等ニ至ル迄各得事ノ音調
 モテ客ヲ集ムル有様ハ何ニ譬エンヨフモナキナリ全体此邊ハ「エケ」(ジゴクノコトナリ)ノ
 巢窟ニシテ横町小路ノ薄暗キ所ハ勿論氷野臺ヤ蕎麥野臺ノ興ニ怪シノ女白粉巨手塗ノ怪物
 垂涎三尺ノ壯夫偷翁ヲ捕ヘテ賣買價格ノ談判杯ルルモ可笑シキコト、モナリ
 ◎又タ甲子町ト云フ所モ夜店ノ盛ナル所ナリ然レモ藏前ノ繁昌ニハ及バス先ツ小藏
 前ト見バ適當ナランカ

第三十九 諸物價

當地ノ物價ハ内地ニ比スレバ幾分カ高貴ナリ蓋シ開港場ノ免レザル所ナリ況ンヤ函館ノ如
 キ一大殖民地タル北海道ノ咽喉ニ位スル所ニ於テヤ仍テ今左ニ明治廿六年十二月ヨリ全廿

七年一月ニ於ケル諸糧ノ小賣相場ヲ掲ゲテ其一班ヲ知ルニ供セシ但シ北海道ハ冬季ハ概子物價騰貴シ春ヨリ夏ニカク多少下落スルモノト知ルヘシ

- ◎白米一俵(上等四斗入三圓八十錢) ◎大豆一升(六錢五厘) ◎小豆一升(七錢五厘) ◎醬油一升(龜甲方三十錢膏樽ハ一圓七十五錢) ◎味噌一貫目(廿貳錢) ◎酒一升(大坂廿五六錢以上三十五六錢以下) (大山酒一升廿三四錢地酒一升十三四錢) ◎石油一升(十二錢 鑄印一罐一圓五錢) ◎黑砂糖一斤(二百目九錢) 全白(百六十目十二錢五厘) 全中白(二百目十三錢) ◎片粟粉一本(七錢) ◎晒アーン一本(七錢) ◎白玉一本(五錢) ◎搥餅一本(十五錢以上) ◎搥餅一本(七八錢以上) ◎搥餅一本(十錢以上) ◎搥一俵(三十八錢) ◎牛肉一斤(二十錢以上二十八錢以下) ◎鳥肉一斤(二十五錢) ◎薪一敷(三圓五十錢但シ一敷トハ長二尺六寸三角ノ薪百拾本ヲ云フ) ◎炭一俵(十貫目四十五錢尤モ夏季ハ三十錢内外ナリ) 湯錢ハ二錢薪髮料ハ上等十二錢下等十錢 髭剃代ハ四錢 洗濯料、シヤツ、一枚三錢 襪單物ハ四五錢 袷衣ハ八錢 綿入十二錢 ◎仕立代木綿物袷衣又ハ綿入一枚十五錢ヨリ二十五錢マデ絹物全三十錢ヨリ五十錢マデ木綿單物一枚十五錢絹物全三十錢此他呉服太物西洋小間物類ハ内地ヨリ一割或ハ二割方高價ナリ青物類ハ内地ト格別ノ違ヒナク生魚類ハ殊ニ安價ニシテ鮪ノ如クハ漁不漁ニ依リ一錢ヨリ十疋ヨリ四五疋マデ鳥賊モ亦タ同様ナリ只

高直ナルハ人力車ニテ區内ハ十錢乃至二十五錢位マデニシテ僅カ一二町乗車スルモ亦タ十錢ヲ請求シ決シテ五錢トカ六錢トカ云フノ車賃ナシ

第四十 ● 諸雇一日賃錢

- ◎北海道ノ諸雇賃錢ハ非常ニ不廉ナルモ當函館ハ這般ノ稼人近年漸ク増加シタルヲ以テ根室小樽等ニ比スレハ幾分カ廉價ナリ而シテ是等賃錢ハ諸物價トハ正反對ニテ冬季ハ安ク雪解ケ後ハ概シテ高價ナリ左ニ掲グルモノハ其平均格ト知ルベシ
- ◎大工職一日賃錢四拾貳錢 左官職全六拾錢 石工職全六拾錢 木挽職全四拾五錢 家根職全四拾錢 蠟刺職全四拾錢 建具職全四拾五錢 鍛冶職全四拾錢以上 日傭入足全三拾五錢 下男一ヶ月給料三圓 下女全壹圓

第四十一 ● 種々様々附言葉案内

◎書家ニテハ(元町石川溪鶴)(相生町五十九番地文合茶)書工ニテハ(曙町十五番地北條五洞)(相生町五十九番地桂本琴絲)(俳諧宗匠ニテハ)相生町五十九番地其角九世兎玉並ニ桂本琴絲(三曲並ニ月琴指南)ニテハ曙町川島並ニ思比須町豊浦(九星制化術占斷ニテハ)末廣町

廿一番地玉龍堂昇山「何等ノ事ヲ問ハス引受所辨スルノハ」惠比須町藏前通便利男あんでも
や「等ナリ」函館ニハ随分解シ難キ言葉アリ今左ニ差當リ入用ノ分ヲ直譯テシ讀者諸君ニ
御教授申サン

ヤア「ハ」ヤレ「ハ」ソウダウンスハ「ソウデス子」ワカリマセンハ「イケマセン」ダンハ
ンハ「ダンナサン」メンコイハ「アイラシイ」ニガハ「赤兒」ワラシコハ「子供」アンコハ「十歳
以上十七八歳以下ノ男子」ア子コハ「多ク下女ヲ云フ」ガノジハ「娼妓」ゴケハ「娼賣」ホイト
ハ「乞食」サイバンハ「粗ノコト」ダハンコクハ「不理屈ヲ云フコト」アツマシクナイハ「ユル
リトセヌコト」ヤバチイハ「衣類ヲ、水ニヌル、コト」ソウダスケハ「ソウデアアルガラ」コ、
サハ「コ、ハ」ナンボカハ「何程カ」ソウダハイハ「ソウデアリマス」デメントリハ「日傭トリ」ハ
ンガクサイハ「馬鹿ノコト」

函館案内終

明治廿七年二月廿二日印刷
全 全廿三日出版

定價金二拾錢

著述兼
發行者

田 尻 復

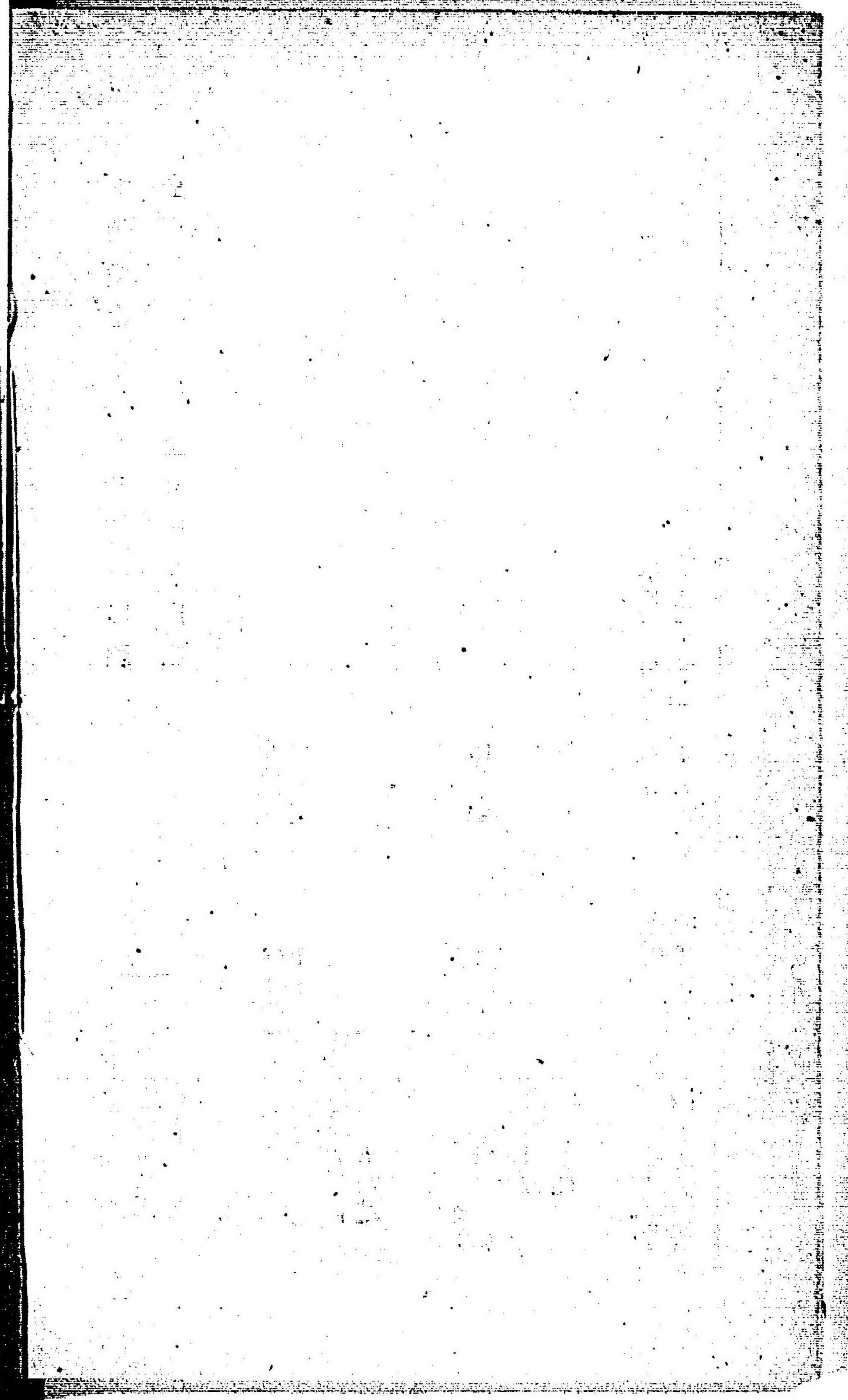
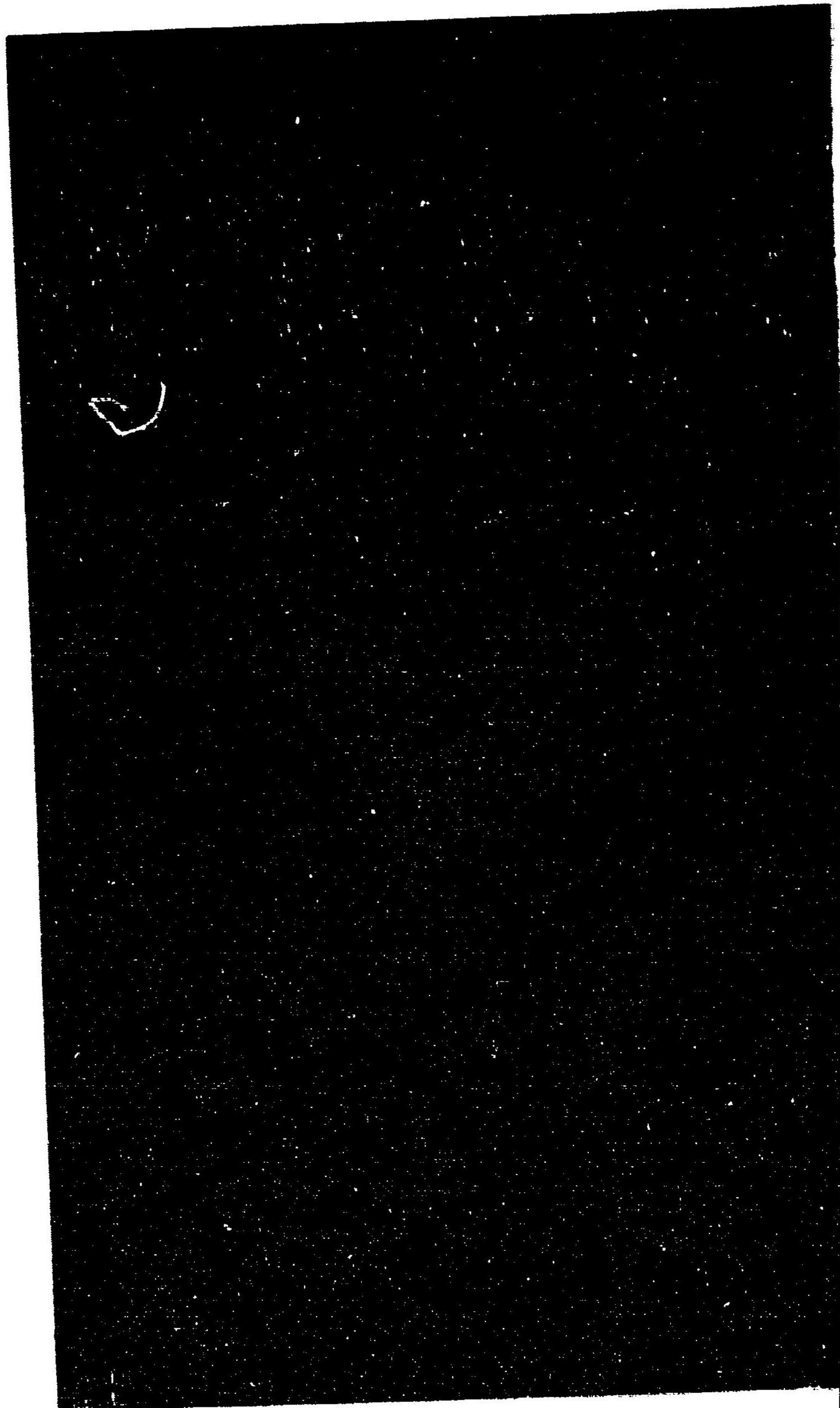
北海道函館區
柳町二十五番地

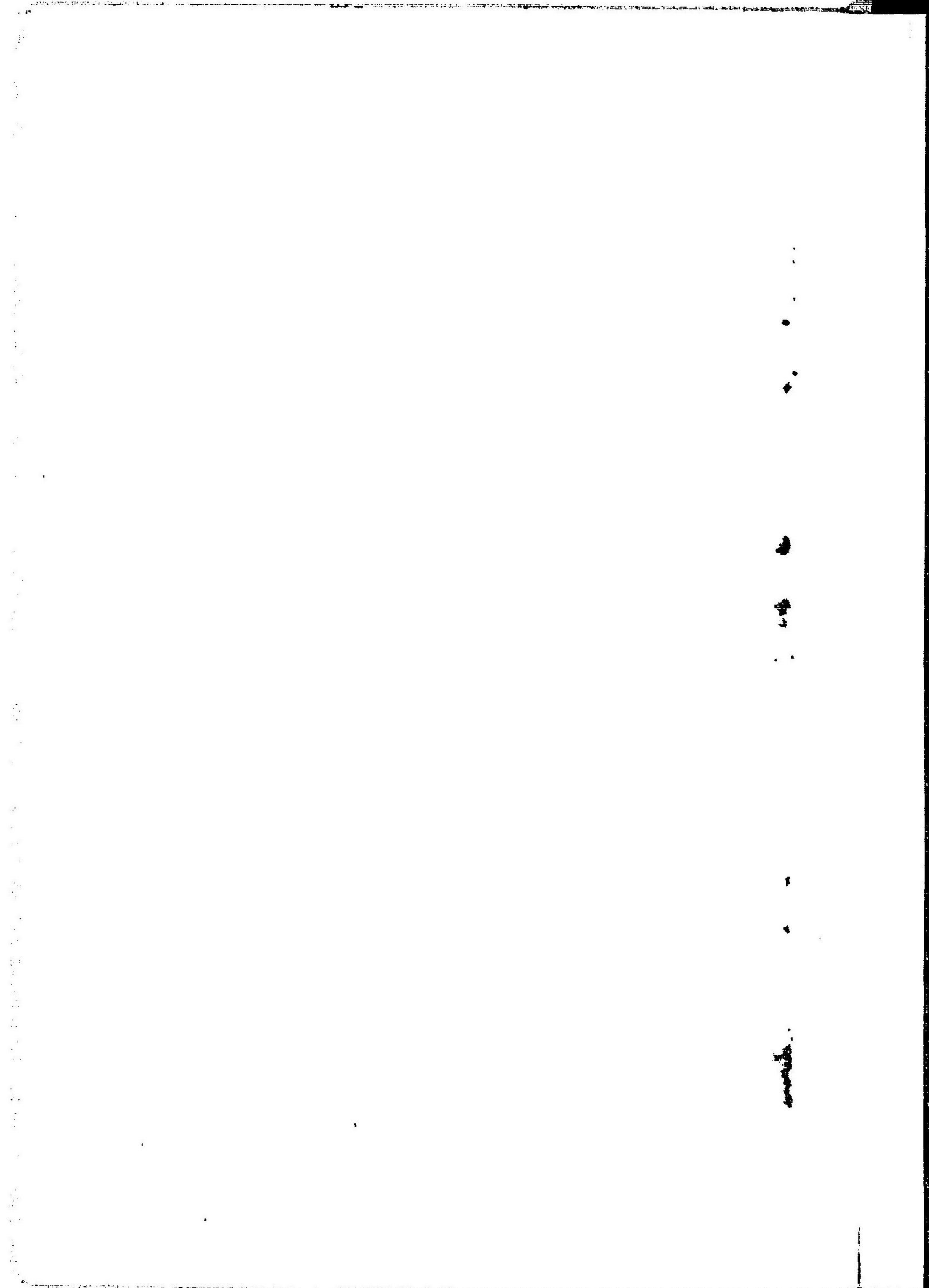
印刷者

玉 野 幸 吉

北海道函館會
所町十二番地

賣捌所 函館各書林





1

023218-000-0

特29-589

函館案内 (北海道之都府)

田尻 復一(蘇山)/著

M27

ADC-0057



特
58